

安曇野市環境基本計画

～みんなで安曇野の環境を考えよう～

平成 28 年度 年次報告書

平成 29 年 3 月

安 曇 野 市

- 目次 -

1 平成 28 年度の取り組みの概要.....	3
2 平成 28 年度の取り組み結果.....	5
2.1 環境基本計画推進会議.....	5
2.1.1 会議の開催状況.....	5
2.1.2 「市全体のテーマ」について.....	7
2.2 安曇野環境市民ネットワーク.....	8
2.2.1 概要と事業内容.....	8
2.2.2 平成 28 年度事業内容.....	9
2.3 環境基本計画庁内調整会議.....	10
2.4 環境審議会.....	11
2.5 安曇野環境フェア 2016.....	12
2.5.1 開催のねらい.....	12
2.5.2 開催概要.....	12
3 行動計画実施結果.....	14
3.1 行動計画について.....	14
3.2 重点プロジェクト別実施プログラム・事業の一覧.....	15
3.3 各重点プロジェクトの結果.....	16
4 参考資料.....	30
4.1 参考資料 1：環境基本計画の推進体制と進行管理.....	71
4.2 参考資料 2：安曇野市環境基本計画推進会議委員 名簿.....	74
4.3 参考資料 3：写真アルバム 安曇野環境フェア 2016.....	75
4.4 参考資料 4：安曇野環境フェア 2016 出展団体一覧.....	76
4.5 参考資料 5：安曇野環境市民ネットワーク 活動アンケート結果.....	77

■ はじめに

安曇野市環境基本計画は、市の環境づくりの方向性を示すものとして平成20年3月に策定され、平成29年度を目標年度としています。その骨子は「共存・共生」、「安全・安心」、「循環型社会」、「参加と協働」を柱とする環境への取り組みのあり方です。

本報告書は、環境基本計画の進捗状況の把握、評価の任を担う安曇野市環境基本計画推進会議が協議を重ね、年次報告書としてまとめたものです。

本報告書を通じて多くの市民や事業者の皆様により市の環境への取り組みをご理解いただき、更なる環境の保全、回復、創造に関する取り組みの推進につなげていただければ幸いです。

市の望ましい環境像の実現には、市民・市民団体・事業者の皆様方の声をよくお聞きし、対話を重視した取り組みを進めていくことが大切です。同時に環境施策の推進には、市民や事業者の皆さんのご協力が何よりも必要です。

環境基本計画は市民・事業者・行政がそれぞれの立場で連携、協働して望ましい環境像を実現するために取り組んでいく計画です。今後とも、環境への取り組みに深いご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年3月

安曇野市環境基本計画推進会議
会長 植松 晃岳

1 平成 28 年度の取り組みの概要

安曇野市のより良い環境づくりを目的として平成 20 年 3 月に策定した「安曇野市環境基本計画」（以下、「基本計画」という。）の実現に向け、具体的な行動の指針である「第二次環境行動計画（以下、「第二次行動計画」という。）」が策定されて 3 年目となる平成 28 年度は、第二次行動計画で定められた二つの重点プロジェクト「環境行動プロジェクト（プログラム化と進行管理）」と、「計画推進プロジェクト（計画に沿った推進と実践）」に従って、活動を展開しました。

「環境行動プロジェクト（プログラム化と進行管理）」では、主体となる市民・事業者・行政が具体的に何をすればよいのか分かる形で環境に関する行動のプログラム化を行い、全市的に展開していくことを目指しました。また、「計画推進プロジェクト（計画に沿った推進と実践）」では、他計画の方針に沿った取り組みについて安曇野市環境基本計画推進会議で進行管理を行い、推進と実践を進めました。

重点プロジェクトの区分

環境行動プロジェクト（プログラム化と進行管理）

●ねらい

- ・取り組みが必要な活動について、市民・事業者・行政が何をすればよいのか分かるようプログラム化し、具体的に進めていきます。
- ・達成度が分かるよう数値目標を設定し、進行を管理します。

●網羅する範囲

- ・第一次行動計画では取り組みが十分ではなかった活動
- ・他計画では網羅しきれていない活動

計画推進プロジェクト（計画に沿った推進と実践）

●ねらい

- ・庁内調整会議など関係部署と連携しながら、進行を管理します。
- ・年度内に 2 回程度の頻度で、関係部署の担当者から進捗状況について報告を受け、工程が遅れたり見直しが必要と判断される項目については、取り組みの改善を要望します。

●網羅する範囲

- ・他計画などで推進されている活動

また、第 9 回目の開催となる「安曇野環境フェア 2016」では、2 日間で約 1,900 人の来場者を記録し、盛況な結果となりました。

表 1 に、平成 28 年度における取り組みの概要を示します。

表 1 平成 28 年度の取り組みの概要

区分	名称	内容
推進体制	安曇野市 環境基本計画 推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画推進会議の開催（計 7 回） ・実施計画の策定、進捗状況の確認および評価、 年次報告書の作成 ・第 2 次安曇野市環境基本計画の策定
	安曇野環境市民 ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野環境フェア 2016 について 安曇野市、安曇野環境フェア実行委員会と共催
	環境基本計画 庁内調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の取り組みに関する確認 平成 28 年度 環境基本計画年次報告書 平成 29 年度 環境基本計画実施計画 第 2 次安曇野市環境基本計画の策定
	環境審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度 環境基本計画年次報告書の承認
イベント	安曇野環境 フェア 2016	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 10 月 8 日、9 日の 2 日間にわたり開催 出展団体数 64 団体 来場者数 約 1,900 人

2 平成 28 年度の取り組み結果

2.1 環境基本計画推進会議

2.1.1 会議の開催状況

環境基本計画を推進する主体である「安曇野市環境基本計画推進会議（以下、「基本計画推進会議」という。）」は、市民・事業者・行政の取り組みの施策・事業における提案、計画推進のための啓発活動や支援、進捗状況の点検・評価と年次報告書の作成を主な目的としています。委員は、事業団体の推薦を受けた者、環境保全活動団体の推薦を受けた者、公募により選考された市民、市長が必要と認めた者（環境基本計画策定委員経験者 など）からなる 14 人で構成されています。

平成 28 年度は、第二次行動計画で策定された重点プロジェクトを推進するため、実施計画の策定から実施状況の把握、平成 28 年度の評価などについて、7 回の環境基本計画推進会議を開催し、ワーキンググループ（WG）毎に協議を重ねました。

WG の編成を表 2 に、推進会議などの経過を表 3 に示し、重点プロジェクトの実施状況については「3-3. 各重点プロジェクトの結果」にまとめました。

表 2 ワーキンググループ（WG）の編成

WG名	対象の重点プロジェクト
自然	②安曇野にふさわしい生態系を守る ④森づくりを推進する ⑤耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る ⑥地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
景観・まちづくり	③身近な水辺を育み地域の歴史と文化を大切にする ⑦豊かな地下水を保全する ⑧臭気規制を導入する
資源・エネルギー	①緑化と省エネを主体とした CO ₂ 削減に取り組む ⑨ごみを減らそう ⑩環境マネジメントシステムを導入する ⑪自然エネルギー導入を進める

表3 安曇野市環境基本計画推進会議の経過

日 時	会議名称	内 容
平成 28 年 4 月 26 日	第 1 回 推進会議	(1) 委員委嘱および役員選出について (2) 安曇野市環境基本計画概要について (3) 平成 28 年度実施計画（案）について (4) 平成 28 年度年次テーマ（案）について 他
7 月 15 日	第 2 回 推進会議	(1) 委員委嘱について (2) 第 2 次安曇野市環境基本計画の策定について (3) 平成 28 年度実施計画の進捗状況について
9 月 13 日	第 3 回 推進会議	(1) 安曇野環境フェア 2016 開催について (2) 平成 28 年度実施計画の進捗状況について (3) 平成 29 年度事業計画について
11 月 22 日	第 4 回 推進会議	(1) 平成 28 年度実施計画の中間報告について (2) 平成 28 年度事業評価について (3) 第 2 次安曇野市環境基本計画アンケート（案）
平成 29 年 1 月 17 日	第 5 回 推進会議	(1) 平成 28 年度事業評価について (2) 平成 29 年度実施計画（案）について (3) 第 2 次安曇野市環境基本計画の 構成（案）について
3 月 14 日	第 6 回 推進会議	(1) 第 2 次安曇野市環境基本計画に関する アンケート調査結果について (2) 第 1 次安曇野市環境基本計画の成果と課題、 今後の取り組みの方向性（案）について
3 月 21 日	第 7 回 推進会議	(1) 平成 28 年度実施計画の年度末報告について (2) 平成 29 年度実施計画（案）について

2.1.2 「市全体のテーマ」について

「市全体のテーマ」とは、安曇野市の環境をより良くするために、市民・事業者・行政が積極的に取り組む共通テーマであり、共通の目標に向かって各主体が取り組むことにより、目に見える形で成果が上がることを期待しています。「市全体のテーマ」を現在進行中の重点プロジェクトとリンクさせるとともに、安曇野環境フェアや各種生涯学習講座との連携をはかって目に触れる機会を増やすことにより、市民など様々な人々の関心を高め、取り組みへの機運が高まることを目的としています。

「市全体のテーマ」は、以下の2つです。

年次テーマ 『安曇野の環境を知り、育み、伝える』 ～参加することから一歩踏み出そう～

【選定の理由】

- ・これまで「知り、育み、伝える」というテーマで進めてきた安曇野の環境について、これからはみんなが考え、自分のできることから取り組める行動につなげていくことが大切です。
さらにそれらの行動への参加が大きな環境への取り組みを起こすきっかけになれば素晴らしいことです。
- ・市民一人ひとりの行動や意識を高め、自覚と責任ある行動の浸透を目指し、確実に次の一歩を進める。参加からもう一歩進んだ取り組みに踏み出しましょう！

長期テーマ 『地球温暖化防止にみんなで取り組む』 (設定期間：H20～H29)

【選定の理由】

- ・地球温暖化による気温の上昇はすでに実感することができるようになってきており、地球温暖化防止は地球全体で取り組むべき課題と言えます。
- ・地球温暖化は地球規模の環境問題ですが、防止のためには日々の暮らしや営みの中で地道に取り組む必要があることから、環境基本計画の期間を通じた共通のテーマとして、継続的に取り組みます。

【関連する重点プロジェクト】

- ①緑化と省エネを主体としたCO₂削減に取り組む
- ④森づくりを推進する
- ⑩環境マネジメントシステムを導入する
- ⑪自然エネルギー導入を進める

2.2 安曇野環境市民ネットワーク

2.2.1 概要と事業内容

「安曇野環境市民ネットワーク」は、市内全域または各地域において環境保全のための活動を行っている各種団体のとりまとめ、および連絡・調整を行うことを目的として平成21年9月に発足しました。

事業内容は、大きく分けて①コミュニケーション、②環境学習の企画と実施、③環境基本計画および行動計画の実施、④普及啓発の4つです。

平成28年度は、総会、運営委員会を各1回開催し、ネットワーク参加団体の情報発信および交流を深めることを目的とした談話会「環カフェ」を3回、明科中学校環境講座を9回開催しました。

これらの会議以外にも、昨年度より引き続き、ネットワーク参加団体の会員を中心に安曇野環境フェア実行委員会が組織され、安曇野環境フェアの共催・運営を行いました。

表4 安曇野環境市民ネットワークの事業内容

区 分	内 容
①コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・ ネットワーク参加団体および個人に関する情報の提供と公開・ 参加者同士のコミュニケーション・ 交流会などの企画
②環境学習の企画と実施	<ul style="list-style-type: none">・ 環境学習プログラムの企画と実施・ 環境学習におけるリーダーなど、地域に貢献できる人材の育成・ ネットワークのつながりを活用した環境学習の企画と実施
③環境基本計画および行動計画の実施	<ul style="list-style-type: none">・ 環境基本計画、環境行動計画の推進への協力・ 環境保全上の課題への対応
④普及啓発	<ul style="list-style-type: none">・ インターネット上での情報公開・ 活動拠点における情報提供・ 各種環境イベントの企画と運営、参加と協力

2.2.2 平成 28 年度事業内容

表 5 安曇野環境市民ネットワークの事業内容

日 時	企画名称	内 容
平成 28 年 6 月 4 日	第 1 回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「緑のカーテン講座」 ①私たちの暮らしと地球温暖化～IPCC AR5 から～ ②緑のカーテンとゴーヤの育て方 ～実の収穫も楽しめる、ゴーヤの育て方のコツを学ぶ～ ①安曇野地球温暖化協議会 樋口 嘉一 さん ②NPO 法人 あづみ野風土舎 の皆様
8 月 6 日	第 2 回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「善光寺裏街道を往く」 ～明科地域潮沢地区の生活環境を支えた古道の歴史を紐解く～ 潮沢ロマンの会 の皆様
10 月 28 日	第 3 回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「長野県の環境エネルギー戦略」 長野県環境部環境エネルギー課
2 月 20 日	運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度総会について
3 月 29 日	総会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業報告および収支決算 ・平成 29 年度事業計画および収支予算

表 6 明科中学校の総合的な学習の時間

日 時	内 容
平成 28 年 5 月 23 日	開講式（安曇野環境市民ネットワーク座長）
6 月 6 日	河原での植物観察（安曇野緑の会）
6 月 20 日	長峰山での自然観察（NPO 法人 森倶楽部 2 1）
6 月 27 日	押野山での昆虫と植物の観察、 松枯れ被害の状況と対策について（三郷昆虫クラブ）
7 月 4 日	マイ箸づくり体験（マイ箸づくりサポートボランティア） エコグッズ、箸置きづくり体験（安曇野市消費者の会）
9 月 5 日	ふるさとの景観について考えよう（安曇野建築三会）
9 月 12 日	ぬかくどを使ってご飯を炊こう（NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団）
9 月 26 日	動物の個体群動態の体験学習と 身近な生き物調査（長野県烏川溪谷緑地環境管理事務所）
10 月 17 日	閉講式（安曇野環境市民ネットワーク座長）

2.3 環境基本計画庁内調整会議

「環境基本計画庁内調整会議」は、庁内の担当課を明確化した上で、関連する施策の連携を強化し、環境に関する施策・事業を効果的に推進すること、庁内の連絡調整を行うことおよび市地球温暖化防止実行計画などの策定・推進・評価などを行うことを目的として設置しました。

表7 環境基本計画庁内調整会議の経過

日付	会議名称	内容
平成28年 6月6日	庁議	第2次安曇野市環境基本計画の策定について
7月4日	庁議	<p>平成27年度 環境基本計画年次報告書について（報告） 平成28年度 環境基本計画実施計画について（報告）</p> <p>概要：各内容を説明し、了承されました。</p> <p>市地球温暖化防止実行計画に係る平成27年度の取り組み結果について（報告）</p> <p>概要：CO₂排出量は基準年度（平成20年度）と比較して約1.3%（約93.1t-CO₂）の減</p> <p>■基準年度比1.3%減について</p> <p>電気使用量を除いて全項目で減少しましたが、特に重油とガソリンによる排出量が大きく減少しました。</p> <p>このうち重油については主な使用施設であった三郷支所が解体されることとなったことが原因です。</p> <p>また、ガソリンについては、本庁舎への業務集約により職員の公用車による外出機会が大きく減少したことが大きな要因となっているとみられます。</p> <p>その他としては、各支所などに勤務する職員が減ったことによる電気使用量の減少が挙げられます。</p>

2.4 環境審議会

「環境審議会」とは、安曇野市環境基本条例に基づき設置されるもので、環境基本計画に関することや環境保全に関する基本的事項を調査・審議するための、学識経験者中心の諮問機関です。

環境問題に対し、市長の諮問に応じ答申することのほか、環境基本計画の進捗状況を管理する「環境基本計画年次報告書」の承認などを行っています。

表8 環境審議会の経過

日付	会議名称	内容
平成28年 5月17日	第1回 環境審議会	平成27年度 環境基本計画年次報告書について（報告）
12月20日	第2回 環境審議会	第2次安曇野市環境基本計画策定について
平成29年 3月22日	第3回 環境審議会	(1) 第2次安曇野市環境基本計画に関するアンケート 調査結果について (2) 第1次安曇野市環境基本計画の成果と課題、 今後の取り組みの方向性（案）について

2.5 安曇野環境フェア 2016

2.5.1 開催のねらい

「安曇野環境フェア」は、環境基本計画に基づく取り組みの一環として、9回目の開催となりました。

安曇野環境フェアでは、環境基本計画で定められた取り組みを広く紹介するとともに、出展者と来場者の交流を深め、参加していなかった人も巻き込みながら参加者同士がお互いの顔を見えるようにし、つながりの環を広げていくことを目指しました。

開催目的は、以下の3点です。

- ① 環境に関する課題を市民が共有できる場を提供する。
- ② 出展者と来場者の交流を深め、これまで参加していなかった人を巻き込む。
- ③ 参加者同士がお互いの顔を見えるようにし、つながりの環を広げる。

2.5.2 開催概要

【基本コンセプト】 安曇野の環境を知り、育み、伝える
～参加することから一歩踏み出そう～

【テーマ】 安曇野の快適な暮らし

【主催】 安曇野市、安曇野環境フェア 2016 実行委員会

【共催】 安曇野環境市民ネットワーク

【日時】 平成28年10月8日（土） 午前9時30分～午後4時
9日（日） 午前9時～午後4時

【会場】 安曇野市堀金総合体育館（安曇野市堀金烏川 2662）

【開催内容】

- パネル展示と体験コーナー（8日～9日）
 - ・市民団体、企業などによる展示：計64団体・個人
- 環境活動発表会（9日）
 - （一般の部）NPO 法人川の自然と文化研究所、信州水環境マップ・ネットワーク、日本チェルノブイリ連帯基金 Team めとば、株式会社角藤 環境ソリューション室、長野県環境部環境エネルギー課・株式会社環境エネルギー総合研究所、安曇野地球温暖化協議会
 - （学校の部）豊科南小学校・明科中学校・エクセラン高等学校
- ホーボーズ・パペットシアター人形劇（8日～9日）
 - ・演目：七匹の子やぎ（8日）、おだんごころころ（9日）
- 子ども広場（8日～9日）
 - ・段ボール迷路、積み木コーナー
- リサイクル自転車の展示・頒布（8日）
 - ・豊科リサイクルセンターで修理・再生された自転車の展示・頒布（抽選）

- 水で遊べるおもちゃづくり（8日～9日）
 - ・メインアリーナにて、水で遊べるおもちゃ作りの体験
（講師：豊科郷土博物館 館長）
- 「緑のカーテン」写真展（8日～9日）
 - ・市内の住宅、事業所などに設置された「緑のカーテン」の写真展
- 環境講座「安曇野の水巡り」（8日）
 - ・市内4カ所の湧水地をバスで巡る講座
（協力：長野県建築士会安曇野支部）
- 環境講座「拾ヶ堰の開削の歴史と現在」（9日）
 - ・拾ヶ堰の開削技術及び役割の変遷についての講座
（講師：長野県拾ヶ堰土地改良区 青柳 和義 さん）

【同時開催】

- 景観から考える安曇野の魅力について（8日）
景観という視点から安曇野の魅力について考える講演会
（主催：長野県建築士会安曇野支部）
（講師：東京大学教授 堀 繁 さん）
- ジャイアン村上おもしろサイエンスショー（9日）
 - ・米村でんじろうさんがプロデュースしたショー
「面白い科学」、「学べる科学」を通じて科学の魅力を発信
（出演：ジャイアン村上）
- うちエコ診断（9日）
家庭で出来る地球温暖化対策の提案
（講師：長野県地球温暖化防止活動促進センター）
- 触れる地球ミニ講座（8日～9日）
 - ・直径1.28メートルの地球儀にリアルタイムに生きた地球の様子を映し出す
（講師：長野県地球温暖化防止活動推進員 宮澤 信 さん）
- 屋敷林見学会（9日）
 - ・ガイドの説明による会場周辺の屋敷林の見学
（主催：屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト）
- 作品展示・表彰式（9日）
 - ・「三角島」スケッチコンテスト
（主催：三角島ふるさとの森プロジェクト）

【来場者数】

10月8日（土）約1,000人

9日（日）約900人

2日間の合計 約1,900人

3 行動計画実施結果

3.1 行動計画について

「安曇野市環境行動計画」は、環境基本計画の実現に向け、基本計画に盛り込まれた取り組みのうち、特に重点的・優先的に行う必要のある項目をまとめたものです。

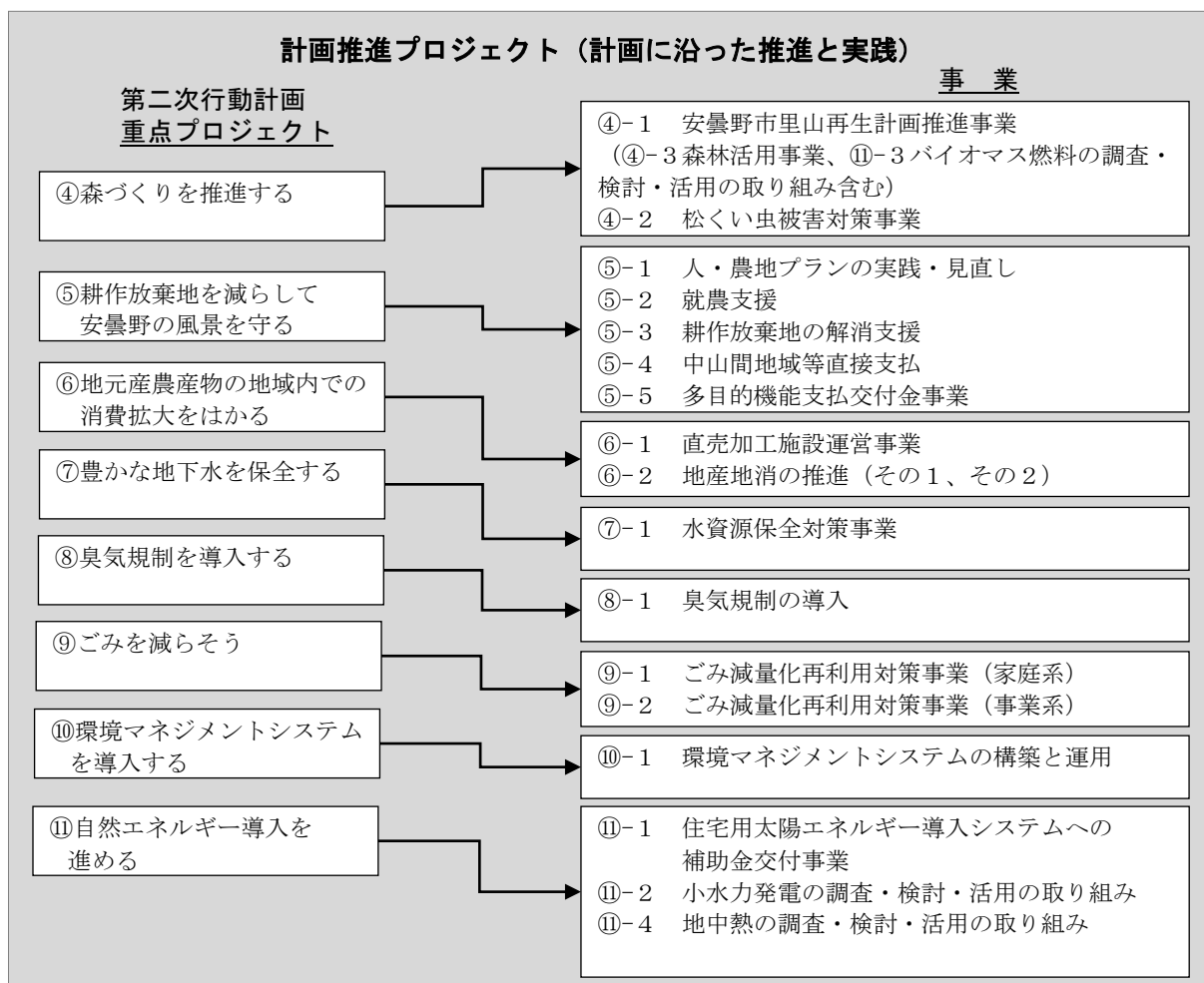
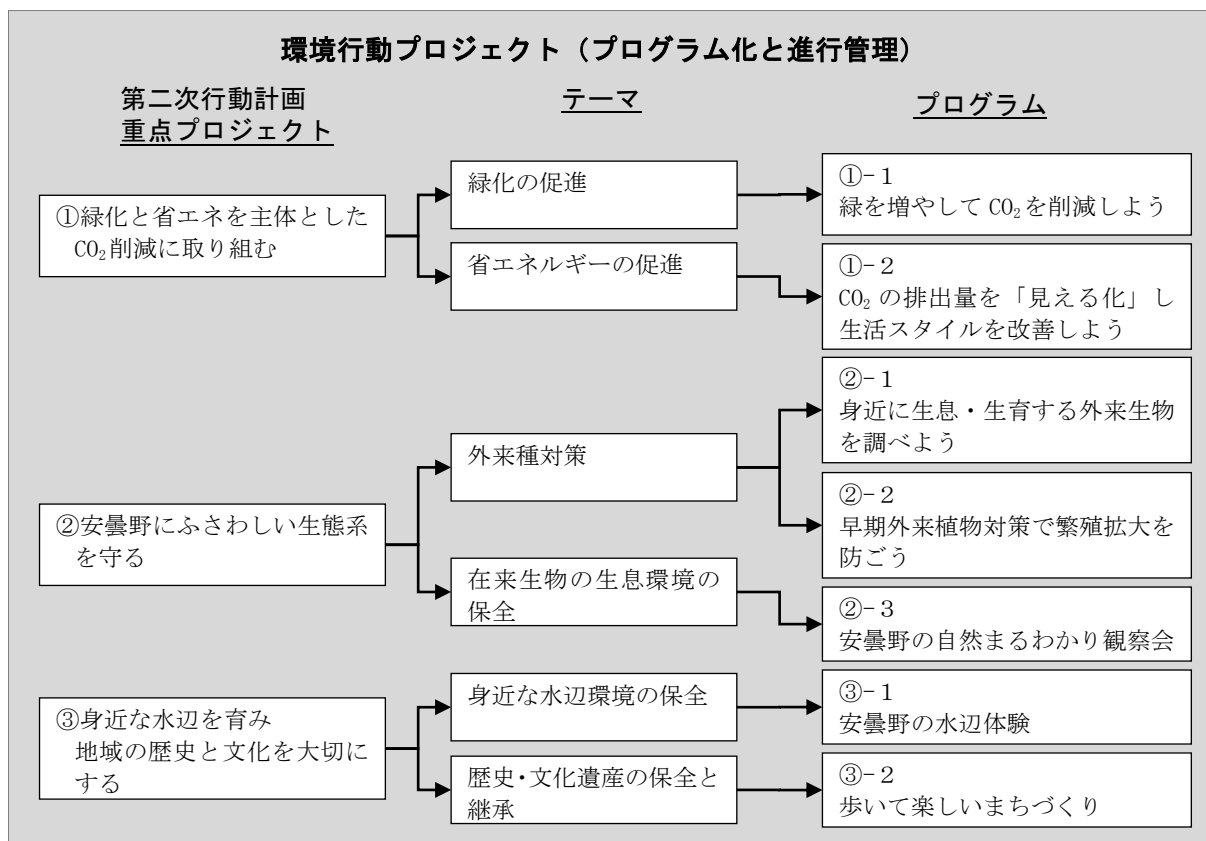
環境基本計画は、平成 20 年度を始期として平成 29 年度を目標年度としています。第二次行動計画は、このうちの後半にあたる平成 26 年度から平成 30 年度までに実現する項目を取り上げています。

そして、計画に従って取り組みを進めることを前提に、主体ごと、時期ごとに行うべき項目を可能な限り具体的に取り上げています。

3.2 重点プロジェクトの一覧

第二次行動計画で定められた「環境行動プロジェクト（プログラム化と進行管理）」と、「計画推進プロジェクト（計画に沿った推進と実践）」の2つのプロジェクトに区分し、進行管理を行い、推進と実践を進めました。

■ 重点プロジェクト別実施プログラム・事業一覧



3.3 各重点プロジェクトの結果

以下、重点プロジェクトごとに平成 28 年度の取り組みの結果を示します。

～ 重点プロジェクト別 点検評価書の見方－1 ～

第二次行動計画で策定した基本事項です。

個別プロジェクトに対する難易度と目標達成度で業績評価を求めます。

個別プロジェクト取り組み状況に対する評価を求めます。

個別プロジェクトと環境行動計画（5年計画）との進捗状況の確認。

個別プロジェクト各取り組み評価を点数で集計し取り組み評価を求めます。

本年度の課題などを整理し、次年度に向けた改善点をまとめます。

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書（ 中間時 / 年度末時 ）						
■プロジェクトの基本事項						
重点 PJ 名	①緑化と省エネを主体とした CO ₂ 削減に取り組む					
事業名	①-1 緑を増やして CO ₂ を削減しよう					
目的	生活環境における緑化が、エネルギーの消費を低減し CO ₂ 削減につながる効果について学び、緑化への取り組みを推進し、温暖化防止をはかる					
目標	今年度の市内家庭における実施率を 50% とする					
担当課・係	環境課 環境政策係					
■本年度の実績評価						
業績評価 (Check)	【評価】	総合コメント ○効果的だった取り組みや項目 ・「緑のカーテン」講座の実施 広報誌やホームページを使った広報、学校への配布チラシにより参加者数が昨年度の 1.4 倍の 42 人となった。 ・市の管理施設での取り組みの実施 担当者から施設利用者へのアピールになっている、児童への環境教育の効果を果たしている、という声が寄せられた。 ○不十分だった取り組みや項目、その要因 ・環境フェア来場者へのアンケートにより把握した実施率は、25.5% と低い数値となった。 ・写真展への応募件数が少なかった。				
	L2-C					
	60					
取り組み 評価 (Check)	A					
進捗状況 (Check)	○					
※進捗状況⇒予定どおり……○、遅れている……×						
※平成 28 年度目標評価集計						
	A 評価 (100 点)	B 評価 (80 点)	C 評価 (60 点)	D 評価 (40 点)	E 評価 (20 点)	計
取組数	5	2				7
点数	500	160				660
	取り組み評価点数					94
※取り組み評価点数＝個別目標評価点合計／目標数（評価項目数）						
※取り組み評価 A⇒(取り組み評価点数)90～100 点、取り組み評価 B⇒70～89 点、 取り組み評価 C⇒50～69 点、取り組み評価 D⇒30～49 点、取り組み評価 E⇒0～29 点						
■次年度への展望と課題など						
改善 (Action)	○改善すべき取り組みや項目とその修正点 ・実施率把握のための調査モニターについて、講座・写真展などへの協力者を中心とし実施を行う。 ・アンケート形式、内容を簡素化し回答率の上昇を図る。 ・講座や写真展の参加者数増加のため、関係団体への協力要請や事前の広報を早めに行う。 ○課題や新たに設定すべき目標 ・「緑の基本計画」や「里山再生計画」など庁内他部署で運用されている計画の内容を精査し、緑のカーテン以外の緑化策や連携の在り方について検討する。					

～ 重点プロジェクト別 点検評価書の見方－2 ～

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	目標	結果	実施日	点検・評価※
●取り組みの広報（行政） ・緑のカーテンに関する広報 [定量-2]	延べ 10回 以上	・講座開催の広報 （広報あづみの、市 HP、市 twitter、広報ラジオ、環境市 民 NW メール、公共施設・小学 校への配布チラシ） ・写真展開催の広報 （広報あづみの、市 HP、市 twitter、環境フェアチラシ）	延べ 11回	A
●取り組みの実施（行政） ・「緑のカーテン」講座の開催 講師：NPO 法人あづみ野風土舎、市 民 NW、推進会議委員 演題：「緑のカーテン」の育て方、 「緑化活動」の紹介、「夏の 省エネ対策」など 「ゴーヤ苗」無料配布（行政） [定量-1]	6/4	・安曇野市役所 本庁舎 4階大会議室において 実施。 （参加者：42人）	6/4	A
・「緑のカーテン」アンケート実施 安曇野環境フェアで実施 [定量-2]	回答数 200件 以上	・環境フェアにおいて実施 回答数 805 件	10/8、9	A
・「緑のカーテン」写真展の募集（行政） 安曇野環境フェアでの展示 [定量-2]	8/1 ～ 8/31 （募集） 10/8、9 （展示） 30件 以上	・8/1～8/31（募集） ・10/8、9 （展示：安曇野環境フェア） ・20件展示		B
・市の管理施設等での 取り組みの実施 [定量-2]	30箇所 500本 以上	・32箇所、593本 （ゴーヤ 185本、 アサガオ 408本）		A
●取り組みの実施（市民・事業者） ・「緑のカーテン」講座への参加 [定量-2]	30人 以上	・42人参加	6/4	A
・「緑のカーテン」写真展への参加 [定量-2]	8/1 ～ 8/31 10/10、 11 （展示） 30件 以上	・8/1～8/31（募集） ・10/8、9 （展示：安曇野環境フェア） ・20件展示		B

本年度当初に策
定した計画とそ
の結果です。
結果は評価※と
して記号で示し
ます。

※評価

- ・ 定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C
- ・ 定量-2：実施数量／目標数量×100＝ 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E
- ・ 定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点PJ名	① 緑化と省エネを主体とした CO ₂ 削減に取り組む
事業名	①-1 緑を増やして CO ₂ を削減しよう
目的	生活環境における緑化が、エネルギーの消費を低減し CO ₂ 削減につながる効果について学び、緑化への取り組みを推進し、温暖化防止を図る
目標	今年度の市内家庭における実施率を 50%とする
担当課・係	環境課 環境政策係

■本年度の実績評価

業績評価 (Check)	【評価】	総合コメント
	L2-C	
	60	○効果的だった取り組みや項目 ・「緑のカーテン」講座の実施 広報誌やホームページを使った広報、学校への配布チラシにより参加者数が昨年度の 1.4 倍の 42 人となった。 ・市の管理施設での取り組みの実施 担当者から施設利用者へのアピールになっている、児童への環境教育の効果を果たしている、という声が寄せられた。 ○不十分だった取り組みや項目、その要因 ・環境フェア来場者へのアンケートにより把握した実施率は、25.5%と低い数値となった。 ・写真展への応募件数が少なかった。
取り組み 評価 (Check)	A	
進捗状況 (Check)	○	

※進捗状況⇒予定どおり……○、遅れている……×

※平成 28 年度目標評価集計

	A 評価 (100 点)	B 評価 (80 点)	C 評価 (60 点)	D 評価 (40 点)	E 評価 (20 点)	計
取組数	5	2				7
点数	500	160				660
				取り組み評価点数		94

※取り組み評価点数＝個別目標評価点合計／目標数（評価項目数）

※取り組み評価 A⇒(取り組み評価点数)90～100 点、取り組み評価 B⇒70～89 点、

取り組み評価 C⇒50～69 点、取り組み評価 D⇒30～49 点、取り組み評価 E⇒0～29 点

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<p>○改善すべき取り組みや項目とその修正点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施率把握のための調査モニターについて、講座・写真展などへの協力者を中心とし実施を行う。 ・アンケート形式、内容を簡素化し回答率の上昇を図る。 ・講座や写真展の参加者数増加のため、関係団体への協力要請や事前の広報を早めに行う。 <p>○課題や新たに設定すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「緑の基本計画」や「里山再生計画」など庁内他部署で運用されている計画の内容を精査し、緑のカーテン以外の緑化策や連携の在り方について検討する。
----------------	---

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	目標	結果	実施日	点検・評価※
<p>●取り組みの広報（行政）</p> <p>・緑のカーテンに関する広報 [定量-2]</p>	延べ 10回 以上	<p>・講座開催の広報 (広報あづみの、市 HP、市 twitter、広報ラジオ、環境市民 NW メール、公共施設・小学校への配布チラシ)</p> <p>・写真展開催の広報 (広報あづみの、市 HP、市 twitter、環境フェアチラシ)</p>	延べ 11回	A
<p>●取り組みの実施（行政）</p> <p>・「緑のカーテン」講座の開催 講師：NPO 法人あづみ野風土舎、市民 NW、推進会議委員 演題：「緑のカーテン」の育て方、「緑化活動」の紹介、「夏の省エネ対策」など 「ゴーヤ苗」無料配布（行政） [定量-1]</p>	6/4	<p>・安曇野市役所 本庁舎 4 階大会議室において実施。 (参加者：42 人)</p>	6/4	A
<p>・「緑のカーテン」アンケート実施 安曇野環境フェアで実施 [定量-2]</p>	回答数 200 件 以上	<p>・環境フェアにおいて実施 回答数 805 件</p>	10/8、9	A
<p>・「緑のカーテン」写真展の募集（行政） 安曇野環境フェアでの展示 [定量-2]</p>	8/1 ~ 8/31 (募集) 10/8、9 (展示) 30 件 以上	<p>・8/1~8/31 (募集) ・10/8、9 (展示：安曇野環境フェア) ・20 件展示</p>		B
<p>・市の管理施設等での 取り組みの実施 [定量-2]</p>	30 箇所 500 本 以上	<p>・32 箇所、593 本 (ゴーヤ 185 本、 アサガオ 408 本)</p>		A
<p>●取り組みの実施（市民・事業者）</p> <p>・「緑のカーテン」講座への参加 [定量-2]</p>	30 人 以上	<p>・42 人参加</p>	6/4	A
<p>・「緑のカーテン」写真展への参加 [定量-2]</p>	8/1 ~ 8/31 10/10、 11 (展示) 30 件 以上	<p>・8/1~8/31 (募集) ・10/8、9 (展示：安曇野環境フェア) ・20 件展示</p>		B

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	①緑化と省エネを主体とした CO ₂ 削減に取り組む
事業名	①-2 CO ₂ 排出量を「見える化」し、生活スタイルを改善しよう
目的	CO ₂ の排出量を「見える化」し、必要とするエネルギーの用途や代替手段を見直し、省エネルギーを促進させる
目標	公共施設の CO ₂ 排出量を管理する
担当課・係	環境課 環境政策係

■本年度の実績評価

業績評価 (Check)	【評価】	総合コメント
	L2-B	
	80	
取り組み 評価 (Check)	B	○効果的だった取り組みや項目 ・継続実施により安曇野市版環境家計簿への登録世帯数が 100 世帯を超えた。 ・事業者向けの省エネ対策講演会 IS014001、エコアクション 21 に関する講座では、参加者からも今後にかしたいといった声が聞かれた。 ○不十分だった取り組みや項目、その要因 ・講演会、講習会への出席者が少なかった。 ・CO ₂ 削減コンテストへの事業者応募について、情報保護の観点から参加が得られなかったことが考えられる。
進捗状況 (Check)	○	

※進捗状況⇒予定どおり……○、遅れている……×

※平成 28 年度目標評価集計

	A 評価 (100 点)	B 評価 (80 点)	C 評価 (60 点)	D 評価 (40 点)	E 評価 (20 点)	計
取組数	8		4			12
点数	800		240			1040
				取り組み評価点数		87

※取り組み評価点数＝個別目標評価点合計／目標数（評価項目数）

※取り組み評価 A⇒(取り組み評価点数)90～100 点、取り組み評価 B⇒70～89 点、

取り組み評価 C⇒50～69 点、取り組み評価 D⇒30～49 点、取り組み評価 E⇒0～29 点

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	○改善すべき取り組みや項目とその修正点 ・引き続き身近なところからの排出量削減手段や市域における排出量の現況を情報発信する。(広報、twitter、安曇野環境フェアなど) ・CO ₂ 削減コンテストへの参加者を増やし、CO ₂ 削減への意識を高める。
----------------	---

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	目標	結果	実施日	点検・評価※
●取り組みの広報（行政） ・CO ₂ 排出量削減に関する広報 [定量-2]	延べ 10回 以上	・H27 排出量結果の広報 (広報あづみの、市 HP) ・講座開催の広報 (広報あづみの、市 HP、市 twitter、公共施設チラシ設置、 安曇野商工会及び工業会依頼、 事業者宛案内) ・「うちエコ診断」受診者募集 (環境家計簿モニター宛通知) ・H28 環境家計簿モニター募集 (広報あづみの他)	延べ 11回	A
●取り組みの実施（行政） ・「安曇野市版環境家計簿」の実施 [定量-2]	登録数 90世帯以上	・登録数 109世帯	1/1～ 12/31	A
・CO ₂ 削減コンテストの実施 [定量-2]	参加者数 事業者の部 5社以上、家 庭の部 10世 帯以上	・登録数 事業者の部 0社 家庭の部 31世帯	7/1～ 9/30	C
・事業者への温室効果ガス排出量 アンケートの実施 [定量-2]	8月～ 回答率 60%以上	・第2次環境基本計画策定 アンケートの実施	12/9～ 12/26	C
・事業団体へのCO ₂ 削減啓発 [定量-1]	10/1～	・安曇野市商工会会員に環 境フェアチラシ配布依 頼	9/9	A
・事業者向けの省エネ対策講演会 [定量-2]	年1回 以上	・6/29 実施「ISO14001 に ついて」(23人参加) ・7/27 実施「エコアクシ ョン21セミナー」	6/29 7/27	A
・エコドライブ講習会の開催 [定量-2]	年1回 参加者 20 人以上	・11/9 実施 (23人参加)	11/9	A
・公共施設に関連するCO ₂ 排出量 の管理 [定量-2]	通年	・H27 実績 7,058,270kg-CO ₂ (基準年度比 1.3%減、前年 度比 3.50%減)	7/27	A
・安曇野市地球温暖化対策行動計 画に基づく取り組みの推進	通年	・取り組みの推進のための WG を開催	7/15 9/13	A
●取り組みの実施(市民・事業者) ・「安曇野市版環境家計簿」への参 加 [定量-2]	登録数 90世帯以上	・登録数 109世帯	1/1～ 12/31	A
・温室効果ガス排出量アンケート への参加 [定量-2]	4/1～3/31 回答率 60%以上	・第2次環境基本計画策定 アンケートの実施	12/9～ 12/26	C
・講演会、講習会への参加	各講演会、 講習会 20 人以上	・長野県出前講座を使った 講習会の開催 (11人参 加)	10/28	C

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	②安曇野にふさわしい生態系を守る
事業名	②-1 身近に生息・生育する外来生物を調べよう
目的	・外来生物についての情報を広く発信し、外来生物に対する意識を高める ・外来生物の生息・生育状況を調査し、安曇野市に生息・生育する外来生物の実態を把握する
目標	収集した外来生物の生息・生育情報を、地図などに整理して公表する
担当課・係	環境課・環境政策係

■本年度の実績評価

業績評価 (Check)	【評価】	総合コメント
	L2-B	
	80	○効果的だった取り組みや項目 ・特定外来生物駆除啓発チラシの全戸配布 チラシへの掲載内容を見直し、アレチウリマップ（市内生息箇所図）を採用したところ、メディアにて取り上げられるなど市民への周知につながった。 また、配布時期を前年度よりも半月前倒したところ、市民からの情報提供も増えたほか、結果として早期駆除に繋がった。
取り組み 評価 (Check)	A	
進捗状況 (Check)	○	
		○不十分だった取り組みや項目、その要因 ・特定外来生物リポーターへの登録 ②-3 自然観察会などの講座にて周知したが申込者が少ない。

※進捗状況⇒予定どおり……○、遅れている……×

※平成 28 年度目標評価集計

	A 評価 (100 点)	B 評価 (80 点)	C 評価 (60 点)	D 評価 (40 点)	E 評価 (20 点)	計
取組数	7	1				8
点数	700	80				780
				取り組み評価点数		97

※取り組み評価点数＝個別目標評価点合計／目標数（評価項目数）

※取り組み評価 A⇒(取り組み評価点数)90～100 点、取り組み評価 B⇒70～89 点、

取り組み評価 C⇒50～69 点、取り組み評価 D⇒30～49 点、取り組み評価 E⇒0～29 点

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	○改善すべき取り組みや項目とその修正点 ・特定外来生物リポーターへの登録 ②-3 の自然観察会等の講座の中で、特定外来生物に関連した内容もしくは生物多様性など自然保護の重要性を考えさせるようなテーマを盛り込むことで外来種駆除への理解が高まり、申込者が増える。
----------------	---

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	目標	結果	実施日	点検・評価※
●取り組みの広報（主体：行政） ・特定外来生物（アケボノ、オオシロシロ、オオシロシロ、オオシロシロ）について啓発チラシの全戸配布[定量-2]	1回	・広報あづみによる周知（第229号）	6/1	A
・特定外来生物の生息・生育情報の提供依頼[定量-2]	3回	・各自然観察会及び環カフェでの呼びかけ	5/23 7/2 10/16	A
		・広報あづみによる周知（第229号）	6/1	
		・市民タイムスへの掲載	6/4	
・特定外来生物の生息・生育情報の集計結果の周知[定量-2]	2回	・市HPによる公開 ・区長会での報告	12/16 2/13ほか	A
・特定外来生物リポーターへの情報発信[定量-2]	2回	・リポーター通信の送付	6/4 12/13	A
●取り組みの実施（主体：行政） ・特定外来生物の生息・生育情報の収集[定量-2]	情報収集 50件	・市民・事業者からの情報提供件数 100件	随時	A
・特定外来生物リポーターの募集[定量-2]	2回	・各自然観察会及び環カフェでの呼びかけ	5/23 7/2 10/16	A
●取り組みの実施（主体：市民・事業者） ・特定外来生物の生息・生育情報の提供[定量-2]	情報提供 50件	・市民・事業者からの情報提供件数 100件	随時	A
・特定外来生物リポーターへの登録[定量-2]	累計 45人以上	・H28 新規登録 15人 累計 32人	随時	B

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	②安曇野にふさわしい生態系を守る
事業名	②-2 早期外来植物対策で繁殖拡大を防ごう
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期対策により、外来植物の侵入拡大を防ぐ ・ 早期対策の効果を実感することにより、身近な外来種に対する取り組み意識が高まる ・ 生物多様性の保全が図られる ・ 景観が向上し、住みよいまちづくりにつながる
目標	モデル地区での駆除活動を実施し、結果をまとめる
担当課・係	環境課・環境政策係

■本年度の実績評価

業績評価 (Check)	【評価】	総合コメント
	L2-B	
	80	
取り組み 評価 (Check)	A	<p>○効果的だった取り組みや項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル地区におけるオオカワヂシャ駆除活動 市民ボランティアを募り、駆除活動を試行した。関心のある市民に協力いただいたほか、同モデル地区での市民団体の活動周知にも繋がった。 <p>○不十分だった取り組みや項目、その要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者の取り組みに関する情報収集 安曇野環境フェアでの出展団体アンケートにて盛り込むよう検討したが、出展団体中の事業者の占める割合が少なく見送った。
進捗状況 (Check)	○	

※進捗状況⇒予定どおり……○、遅れている……×

※平成 28 年度目標評価集計

	A 評価 (100 点)	B 評価 (80 点)	C 評価 (60 点)	D 評価 (40 点)	E 評価 (20 点)	計
取組数	10		1			11
点数	1,000		60			1,060
				取り組み評価点数		96

※取り組み評価点数＝個別目標評価点合計／目標数（評価項目数）

※取り組み評価 A⇒(取り組み評価点数)90～100 点、取り組み評価 B⇒70～89 点、

取り組み評価 C⇒50～69 点、取り組み評価 D⇒30～49 点、取り組み評価 E⇒0～29 点

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<p>○改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者の取り組みに関する情報収集 出展団体へのアンケートでなく、来場者アンケートの内容に盛り込み、社名などを任意で記入いただくことで、行政側からアプローチできるような仕組みとし、情報収集に努める。
----------------	--

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	目標	結果	実施日	点検・評価※
●取り組みの広報（主体：行政）				
・ 駆除啓発チラシ配布 [定量-2]	1 回	・ 広報あづみのによる周知 (第 229 号)	6/1	A
・ 駆除啓発ポスター配布 [定量-2]	1 回	・ 駆除啓発用ポスターの送付	6/30	A
・ アレチウリなどの駆除結果報告 [定量-2]	2 回	・ 市ホームページ掲載 ・ 区長会での報告	12/16 2/13 ほか	A
●取り組みの実施（主体：行政）				
・ 駆除研修会の実施 [定量-2]	1 回 以上	・ 水辺公園マレットゴルフ場 (参加：区長・環境部長 30 人) ・ 水辺公園マレットゴルフ場 (参加：事業者 70 人)	6/19 8/6	A
・ 区などの駆除の実施依頼 [定性]	3 回	・ 区長会での実施依頼 (豊科 4/19 穂高 4/15 三郷 4/21 堀金 4/13 明科 4/22) ・ 環境部長会議での実施依頼 (豊科 4/14 穂高 4/12 三郷 4/13 堀金 4/14 明科 4/12) ・ 各区環境部長宛て駆除啓発 ポスターの送付	4/19 他 4/14 他 6/30	A
・ 駆除方法についての課題収集 (区長会など) [定量-1]	1 回	・ 駆除実施行政区より 市アンケートへの回答あり	12/15	A
・ 流域での対策について関係機関 と協議（河川沿い） [定量-2]	2 回	・ 安曇野建設事務所と協議 (黒沢川管理の協力依頼)	4/13	A
・ モデル地区（穂高地域 三角島） でのアレチウリ、オオカワヂシャ 駆除作業の実施 [定量-2]	3 回	・ 駆除ボランティア（市民） ・ 三角島ふるさとの森 プロジェクト ・ 環境課駆除作業	6/19 7/31 12/28	A
●取り組みの実施（主体：市民・事業者）				
・ アレチウリなど駆除の実施 [定量-2]	3 回	・ 行政区…54 区 7,644 人 ・ ボランティア団体 … 2 団体 63 人 (市職員、三角島ふるさとの森 プロジェクト) ・ 事業者… 1 事業者 83 人 計 7,790 人による協力	6/7~ 10/7	A
・ アレチウリなど駆除の課題報告 [定量-1]	1 回	・ 駆除実施行政区より 市アンケートへの回答あり	9/7~ 11/12	A
・ 事業者の取組の報告 [定量-2]	事業者数 10 社以上	・ 事業者からの報告 個別報告 4 社	11/14	C

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	②安曇野にふさわしい生態系を守る
事業名	②-3 安曇野の自然まるわかり観察会
目的	地元の自然環境の重要性を認識することにより、環境改善への意識の向上につなげる
目標	年間 3 回 (春・夏・秋) 以上の自然観察会または学習講座を開催する
担当課・係	環境課・環境政策係

■本年度の実績評価

業績評価 (Check)	【評価】	総合コメント
	L2-B	
	80	
取り組み 評価 (Check)	A	○効果的だった取り組みや項目 ・自然観察会の実施 身近な内容、親しみやすいテーマ設定を心がけた。
進捗状況 (Check)	○	

※進捗状況⇒予定どおり……○、遅れている……×

※平成 28 年度目標評価集計

	A 評価 (100 点)	B 評価 (80 点)	C 評価 (60 点)	D 評価 (40 点)	E 評価 (20 点)	計
取組数	5	1				6
点数	500	80				580
					取り組み評価点数	96

※取り組み評価点数＝個別目標評価点合計／目標数 (評価項目数)

※取り組み評価 A⇒(取り組み評価点数)90～100 点、取り組み評価 B⇒70～89 点、

取り組み評価 C⇒50～69 点、取り組み評価 D⇒30～49 点、取り組み評価 E⇒0～29 点

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	<p>○課題や新たに設定すべき目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も継続して、多数の参加者を集められるような内容を検討する。 ・特定外来生物や生物多様性に関する内容など自然保護の重要性をより考えさせるような話を講座中に含めていただくよう調整する。
----------------	---

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	目標	結果	実施日	点検・評価※
<p>●取り組みの広報（主体：行政）</p> <p>・参加募集について広報誌、ホームページへの掲載 [定量-2]</p>	講座回数 × 3 回	<p>○第 1 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみによる周知（第 227 号） ・市HP掲載 ・あづみ野FM放送 <p>○第 2 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみによる周知（第 230 号） ・市HP掲載 ・あづみ野FM放送 <p>○第 3 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみによる周知（第 235 号） ・市HP掲載 ・あづみ野FM放送 <p>○第 4 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみによる周知（第 238 号） ・市HP掲載 	<p>4/20 4/15 5/13-16</p> <p>6/15 6/13 6/24-27</p> <p>9/21 9/21 9/30-10/3</p> <p>11/2 11/2</p>	A
<p>・参加募集について小・中学校への案内 [定量-2]</p>	講座回数 × 1 回	<p>○第 1 回</p> <p>○第 2 回</p> <p>○第 3 回、○第 4 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校への配布 <p>※学校配布前に定員に達した講座は未実施とした。</p>	<p>5/18 6/20 未実施 未実施</p>	—
<p>・自然観察会の結果広報 [定量-1]</p>	講座回数 × 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野エコプラン.net 掲載 	12/19	A
<p>●取り組みの実施（主体：行政）</p> <p>・春の観察会 「星空観察会-春の星座と惑星たち-」 [定量-2] → [定量-1]</p>	参加者 30 人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会実施 <p>場所：明科地域 天平の森天文台 講師：天平の森天文同好会 申込者：30 人 ※天候不順につき延期とした</p>	5/28	—
<p>・夏の観察会 「夏の風物詩 ホタルを見守ろう」 [定量-2]</p>	参加者 30 人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会実施 <p>場所：明科地域 自然体験交流センターせせらぎ 講師：藤山 静雄 氏 参加者：27 人</p>	7/2	A
<p>・秋の観察会 「正しく学ぼう！ 秋のキノコとクマの生態」 [定量-2]</p>	参加者 30 人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会実施 <p>場所：穂高・堀金地域 国営アルプスあづみの公園 講師：小林 長幸 氏 参加者：23 人</p>	10/16	B
<p>・秋の観察会 「星空観察会-秋の星座と惑星たち-」 [定量-2]</p>	参加者 30 人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会実施 <p>場所：明科地域 天平の森天文台 講師：天平の森天文同好会 参加者：31 人</p>	11/19	A
<p>●取り組みの実施（主体：市民・事業者）</p> <p>・自然観察会への参加 [定量-2]</p>	各講座 30 人以上 の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・各観察会への参加 	<p>7/2 10/16 11/19</p>	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	③身近な水辺を育み地域の歴史と文化を大切にする
事業名	③-1 安曇野の水辺体験
目的	安曇野市の水辺に慣れ親しむことにより、水辺環境の大切さを身近なものとして実感し、保全に繋げる
目標	年 3 回の親水イベントを実施する
担当課・係	環境課 環境政策係

■本年度の実績評価

業績評価 (Check)	【評価】	総合コメント ○効果的だった取り組みや項目 ・解説を交えた現地視察は好評であり、継続実施希望の意見も多数いただいた。 ・「水で遊べるおもちゃづくり」は環境フェアでのブース内での実施ということもあり親子で参加される方も多く、アンケートで印象に残った催しとして 2 位であった。 ・昨年実施できなかったアンケートを実施することができた。
	L1-B	
	60	
取り組み 評価 (Check)	A	
進捗状況 (Check)	○	

※進捗状況⇒予定どおり・・・○、遅れている・・・×

※平成 28 年度目標評価集計

	A 評価 (100 点)	B 評価 (80 点)	C 評価 (60 点)	D 評価 (40 点)	E 評価 (20 点)	計
取組数	13					13
点数	1,300					1,300
	取り組み評価点数					100

※取り組み評価点数＝個別目標評価点合計／目標数（評価項目数）

※取り組み評価 A ⇒（取り組み評価点数）90～100 点、取り組み評価 B ⇒70～89 点、

取り組み評価 C ⇒50～69 点、取り組み評価 D ⇒30～49 点、取り組み評価 E ⇒0～29 点

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	○改善策 ・多くの参加者が見込める講座内容の企画立案。
----------------	--------------------------------

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
●取り組みの広報（行政）				
		水辺環境講座「温堰の歴史と環境を探る」 ・広報あづみによる周知 ・市ホームページ掲載	5/30・6/1	A
		水辺環境講座「五ヶ用水の歴史と環境を探る」 ・広報あづみによる周知 ・市ホームページ掲載	8/17・19	A
		「水で遊べるおもちゃづくり」 ・広報あづみによる周知 ・市ホームページ掲載	9/21・30 他	A
●取り組みの実施（行政他）				
○「縦堰（温堰）の歴史と環境を探る」 参加者 20人以上 [定量-2]	6/25	講座「温堰の歴史と環境を探る」 参加者：24人	6/26	A
○「五ヶ用水の歴史と環境を探る」 参加者 20人以上 [定量-2]	9/3	講座「五ヶ用水の歴史と環境を探る」 参加者：26人	9/3	A
○環境フェアでの体験ブース出展等 参加者 50人以上 [定量-2]	9/5	「水で遊べるおもちゃづくり」 参加者：308人 (8日：130人・9日：178人)	10/8・9	A
○三角島ふるさとの森プロジェクトへの協力 [定量-1]				
アレチウリ駆除	6月～	アレチウリ駆除・草刈 参加者：8人	7/24	A
三角島の自然を楽しむ集い	9月	「水と緑に親しむ集い」 参加者：20人	7/31	
三角島の自然を描く集い		「三角島の自然を描く集い」 参加者：39人	9/11	
○NPO 法人 川の自然と文化研究所との協力	随時	講演：「犀川の舟運と街道、交通網の変遷」(小松芳郎氏) 「河原の昆虫たち～その保全に向けて～」(中村寛志氏) 参加者：72人	7/16	A
●取り組みの実施（市民・事業者）				
・「親水イベント」への参加 [定量-1] [定量-2]	6月～ 9月	講座「温堰の歴史と環境を探る」 参加者数：24人	6/26	A
		講座「五ヶ用水の歴史と環境を探る」 参加者：25人	9/3	A
		「水で遊べるおもちゃづくり」 参加者：308人	10/8・9	A
		三角島アレチウリ駆除・草刈 参加者：8人	7/24	A
		三角島「水と緑に親しむ集い」 参加者：20人	7/31	
		「三角島の自然を描く集い」 参加者：39人	9/11	
				講演：「犀川の舟運と街道、交通網の変遷」(小松芳郎氏) 「河原の昆虫たち～その保全に向けて～」(中村寛志氏) 参加者：72人

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C
 定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E
 定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書（ 中間時 / 年度末時 ）

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	③身近な水辺を育み地域の歴史と文化を大切にする
事業名	③-2 歩いて楽しいまちづくり
目的	市民が市内を歩いて身の回りの「いいところ」を知り、そのよさに共感する人々と交流し、楽しみながら守り育て、コミュニティや地域の活性化等を促す
目標	モデル地区（明科地域潮沢区）が継続した取り組みができるための組織づくり（計画におけるステップ3）
担当課・係	環境課 環境政策係

■本年度の実績評価

業績評価 (Check)	【評価】	総合コメント
	L2-B	
80		
取り組み 評価 (Check)	A	
進捗状況 (Check)	A	

※進捗状況⇒予定どおり……○、遅れている……×

※平成 28 年度目標評価集計

	A 評価 (100 点)	B 評価 (80 点)	C 評価 (60 点)	D 評価 (40 点)	E 評価 (20 点)	計
取組数	7	2	1			10
点数	700	160	60			920
				取り組み評価点数		92

※取り組み評価点数＝個別目標評価点合計／目標数（評価項目数）

※取り組み評価 A ⇒（取り組み評価点数）90～100 点、取り組み評価 B ⇒70～89 点、

取り組み評価 C ⇒50～69 点、取り組み評価 D ⇒30～49 点、取り組み評価 E ⇒0～29 点

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	○改善策 ・平成 29 年度計画終了に向けて地元主体の事業推進ができるように、まちづくりに必要な資料、人材が整うような体制を構築していく。
----------------	--

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
<p>●取り組みの広報（行政）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区での取り組みの紹介と参加者募集 各イベント 2回 ・ホームページを活用した情報発信 各イベント 1回 [定量-2] 	随時	講座「明科 岩洲山 善光寺裏街道を往く」 ・広報あづみによる周知 ・市ホームページ掲載	6/20・7/20	B
		「環境フェア」での取り組みの紹介 ・広報あづみによる周知 ・市ホームページ掲載	9/21・30 他	B
		講座「明科 岩洲山 ウォーキング」 ・広報あづみによる周知	10/19	C
<p>●取り組みの実施（行政）</p> <p>○学習講座の開催 「潮沢地区学習講座」参加者数：20人 [定量-2]</p>	8/6	講座「明科 岩洲山 善光寺裏街道を往く」 参加者：29人	8/6	A
<p>○里山ウォーキング 岩洲公園ウォーキング 参加者数：30人 [定量-2]</p>	11/5	講座「明科 岩洲山 ウォーキング」 参加者：25人（18人+協力者7人）	11/5	B
<p>○市民団体、地元団体との事業の共催 ・岩州公園ウォーキング（池桜地区） [定量-1]</p>	6/5	「さとやまさんぽ 2016 春 第2回岩州山（明科）」 （NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団） 参加者：29人（15人+14人（スタッフ））	6/5	A
<p>・岩州公園ウォーキング（明賀地区） [定量-1]</p>	7/17 (18)	明科いいまちつくろうかい！！ウォーキング（明賀の歴史を探訪） 参加者：30人	7/17	
		「環境フェア」での取り組みの紹介 来場者：1,900人	10/8・9	
<p>●取り組みの実施（市民・事業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元地区主体の事業に対して内容に応じて必要なサポートを行う ・市民団体・・・「楽しむ」から「受け継ぐ」過程の専門的分野での協力 ・市民団体と地元地区が協働して取り組めるような仕組みづくり [定性] [定量-2] 	随時	講座「明科 岩洲山 善光寺裏街道を往く」 参加者：29人	8/6	A
		講座「明科 岩洲山 ウォーキング」 参加者：25人	11/5	A
		「さとやまさんぽ 2016 春 第2回岩州山（明科）」 （NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団） 参加者：29人	6/5	A
		明科いいまちつくろうかい！！ウォーキング（明賀の歴史を探訪） 参加者：30人	7/17	A
		「環境フェア」での取り組みの紹介 来場者：1,900人	10/8・9	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■プロジェクトの基本事項

重点PJ名	④森づくりを推進する
事業名	④-1 安曇野市里山再生計画推進事業【④-3 森林活用事業含む】
目的	1) 多種多様な環境から成り立つ里山 2) 多くの人々が里山を資源として利用 3) 災害の少ない安全な暮らしをもたらす里山
目標	1) 燃料などの木質バイオマス利用 2) 建築用材としての安曇野材利用 3) 里山学校の開設・運営 4) 松枯れ・鳥獣被害対策の市民参加型企画の立案と運営 5) 松枯れ予防対策の実践
担当課・係	耕地林務課 林務担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
1) 燃料などの木質バイオマス利用 ・プロジェクト調整会議の開催 ・年間活動計画作成 ・活動拠点の確保及び整備 ・薪の製作 ・薪ボイラーへの供給体制の整備 [定量-1]	通年	・プロジェクト調整会議 計8回(内現地2回) (伐採現場確認・薪割り機講習) ・活動拠点確保 ・薪ボイラーへの供給 約5カ月 223 m ³ 1.5 m ³ /日	5/2 ～ 2/21 10/27～	A
2) 建築用材としての安曇野材利用 ・プロジェクト調整会議の開催 ・流通の仕組づくり ・一般住宅での安曇野材の利用 [定量-1]	通年	プロジェクト会議 計3回 安曇野材を利用した 市内一般住宅見学会 市内一般住宅利用2棟	5/9・6/9・ 10/20 9/9	A
3) さとぷろ。学校の開設・運営 ・プロジェクト調整会議の開催 ・運営計画作成・開校 [定量-1]	通年	・プロジェクト会議10回 ・さとぷろ。学校開校 10人募集 → 15人受講 全8講	6/29 ～ 12/7	A
・森林(もり)の里親促進制度・・・契約件数2件 [定量-2]		契約件数1件(GE富士電機M) 森林の里親森林整備 第1回 " 第2回	5/21 10/15	
・みどりの少年団活動・・・小学校6校、中学校2校の活動 [定量-1]		活動助成 小学校4校 中学校2校 みどりの少年団交流集会	8/3	
・学有林活動・・・小学校4校、 [定量-1] 中学校2校の活動		安曇野市・松本市山林組合 穂高西中3年学有林作業	5/12 5/24	
4) 里山保全・体験学習の市民参加型企画の立案と運営 ・プロジェクト調整会議の開催 ・イベントの企画 ・イベントの実施運営 [定量-1]	通年	プロジェクト会議計8回 ・あづみの里山市 ・森林の楽校 ・ハンターと歩く里山 ・さとぷろ。フォーラム	5/13～3/3 9/22 10/28・29 11/26 3/11	A

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
5) 松枯れ予防対策の実践 ・被害状況の現状確認 ・松林のゾーニング作成 ・モデル林の確保及び活動 [定量-1]	通年	プロジェクト会議 11回 松林のゾーニング検討 2回 更新伐跡地の検討 2回	4/13~2/27 8/29・1/23 6/20・11/19	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ④-1 安曇野市里山再生計画策定事業 (④-3 森林活用事業 含)

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月 (前期)	10月～3月 (後期)
	○効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃくなげの湯への薪の提供 ・さとぷろ。学校の開講 ・一般住宅への安曇野材の提供 ・あづみの里山市の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃくなげの湯への薪の提供 ・さとぷろ。学校 全8講の開催 ・一般住宅への安曇野材の提供 ・里山保全、体験学習イベントの実施 (森林の楽校・ハンターと歩く里山) ・さとぷろ。フォーラムの開催
	○不十分だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・松枯れ対策の実践については、市民が直接関わるのが難しく、具体的な取り組みにまで進展できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山再生サポーター登録が約100人となったが、具体的な取り組みに巻き込むことができなかった。

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月 (前期)	10月～3月 (後期)
	○改善策	
	<ul style="list-style-type: none"> ・更新伐した跡地を地域と考える機会を作り、市民が参加できる企画を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さとぷろ。通信の発行や、さとぷろ。HPなどにより、取り組みの内容などを多くに皆さんに伝える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野材を利用した住宅が2棟では少ないのでは。安曇野材をストックして新築の材料として供給するような検討をしていただきたい。(委員) 	

■プロジェクトの基本事項

重点PJ名	④森づくりを推進する
事業名	④-2 松くい虫被害対策事業
目的	松くい虫による被害木を最小限にするため、予防と防除対策及び松の保護育成を実施し、森林の多面的機能の発揮を促す
目標	被害木伐倒駆除 5,500 m ³ 予防薬剤散布 33.6ha
担当課・係	耕地林務課 林務担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	目標	結果	実施日	点検・評価※
被害木伐倒駆除事業 (補助事業) [定量-2]	5,000 m ³	伐倒駆除 (補助事業) 駆除材積 5,037 m ³ (実施率 101%)	4月～ 3月	A
被害木伐倒駆除事業 (市単事業) [定量-2]	500 m ³	伐倒駆除 (市単事業) 駆除材積 2,461 m ³ (実施率 492%)	4月～ 3月	A
予防薬剤散布 ・地上散布 ・特別防除 ・無人ヘリ [定量-2]	33.6ha	予防薬剤散布 ・地上散布 4.0ha ・特別防除 5.0ha ・無人ヘリ 25.0ha 計 34.0ha	6月、7月 6月 7月	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ④-2 松くい虫被害対策事業

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月 (前期)	10月～3月 (後期)
	○効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> 被害木の伐倒駆除は計画の73%実施 (4,045 m³) 予防薬剤散布 34ha 実施 	<ul style="list-style-type: none"> 被害木伐倒駆除 (3,453 m³) *前期との合計 7,498 m³ (実施率 136%)
	○不十分だった取り組みや項目	
・特になし	・特になし	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月 (前期)	10月～3月 (後期)
	○改善策	
	・特になし	・特になし
	<ul style="list-style-type: none"> 個人の松は樹幹注入の補助制度を有効利用し自分で守っていくように推進されたい。(委員) 薬剤散布により被害拡大防止を図るには、継続した散布が必要となるのではないかと思う。効果検証や山陰地方など他自治体の事例を参考にし、被害防止に努めていただきたい。(委員) 	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	④森づくりを推進する
事業名	④-4 ニホンジカ対策
目的	農林業被害の軽減、自然環境への影響の軽減、個体数の削減・地域個体群の安定的な維持
目標	捕獲目標 個体数調整 120 頭
担当課・係	耕地林務課 林務担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	目標	結果	実施日	点検・評価※
有害獣捕獲（個体数調整） ・安曇野市猟友会への委託 （4/1～3/15） [定量-2]	120 頭	有害獣捕獲（個体数調整） 実施 85 頭	4/1～ 3/15	B

■本年度の実績評価 ④-4 ニホンジカ対策

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○ 効果的だった取り組みや項目	
	・くくり罠による捕獲	・くくり罠による捕獲
	○ 不十分だった取り組みや項目、その要因	
	・特になし	・特になし

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
	・巻狩り等により個体数密度がより高い場所での捕獲を行う。	・被害場所の把握に努め、くくり罠や巻狩り等現場に適した方法により駆除を行う。
	・猟友会への負担減のため、新たな担い手を創出するため、ハンターのプロへの委託も検討していく必要があるのではないか。（委員）	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑤耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
事業名	⑤-1 人・農地プランの実践・見直し (作成)
目的	農地の担い手等を明確にして農地の計画的な集積を図る
目標	① 認定農業者の確保・育成・・・300 経営体 ② 集落営農組織の設立支援・・・32 組織 ③ 担い手への農地集積・・・55.0%
担当課・係	農政課集落支援担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check	
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※	
各プランの実践(個々の経営体の意向に沿った農地の流動化等)	プランの見直しの実施 (14プランを5地域別に) [定量-1]	3月	14プランの見直し実施	3月	市農業農村振興計画推進委員会にて点検・評価
	認定農業者の確保・育成 目標：300 経営体 [定量-2]	通年	認定農業者数 267 経営体	通年	
	集落営農組織の設立支援 目標：32 組織 [定量-2]		集落営農組織数 27 組織	通年	
	担い手への農地集積 目標：55.0% [定量-2]		集積率 56.9% (3月末)	通年	

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑤-1 人・農地プランの作成

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・穂高地域での集落営農組織設立に向けた説明会の実施 ・わさび農家への経営意向調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・穂高矢原白金集落営農組織の立ち上げ支援 ・果樹経営意向調査の実施 	
○不十分だった取り組みや項目		
<ul style="list-style-type: none"> ・堀金地域の経営体育成基盤整備事業における農地中間管理機構活用の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を進め、農家への個別説明などを実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑤耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
事業名	⑤-2 就農支援
目的	国や市独自の給付金制度等により、次世代の農業の担い手や後継者づくりを進める
目標	新規就農者の確保・育成・・・10 人/年
担当課・係	農政課集落支援担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
就農支援室(市再生協)による相談窓口業務の実施 [定量-1]	通年	相談件数 45 件	通年	市農業農村振興計画推進委員会にて点検・評価
青年就農給付金事業 (国からの就農支援金 @150 万円/年・最長 5 年) [定量-1]	通年	青年就農給付金 交付対象者 19 人	通年	
安曇野市親元就農促進事業 (機械等取得補助金 3/10 以内、 就農支援金@20 万円/年・最長 5 年) [定量-1]	通年	・機械等取得補助金 交付決定件数 5 件 交付決定額 4,066 千円 ・支援金 交付対象者 39 人	通年	
[定量-2]		■新規就農者の確保・育成・・・ 7 人		

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑤-2 就農支援

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
	・移住相談窓口と連携した就農相談の実施	・移住相談窓口と連携した就農相談の実施
○不十分だった取り組みや項目		
・県との連携による就農相談の実施	・特になし	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
○改善策		
・普及センターと連携を密にした就農相談の実施。	・特になし	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑤耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
事業名	⑤-3 耕作放棄地の解消支援
目的	耕作放棄地の再生作業に対する補助事業の活用を推進し、新たな発生を防ぐ
目標	耕作放棄地全体面積・・・32.8ha
担当課・係	農政課集落支援担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
・耕作放棄地再生利用対策の推進【国】 (農作物の生産再開に向けた条件整備に対する補助金の交付) [定量-1]	通年	交付対象件数 11 件 再生利用面積 42,400 m ²	通年	市農業農村振興計画推進委員会にて点検・評価
・荒廃農地解消就農者支援制度の推進【市】 (一定規模の解消を行う農業者への支援金) (100 万円を 5 年分割交付) [定量-1]	通年	交付対象者 3 人 解消済面積 8,265 m ²	通年	
・荒廃農地再生作業機械貸出事業【市再生協】 (歩行型草刈機の貸出等) [定量-1]	通年	貸出件数 64 件 活用面積 186,040 m ²	通年	
・荒廃農地発生防止・再生支援事業【市再生協】 (耕作条件不利農地や耕作放棄地に適した作物の栽培検証) [定量-1]	通年	ニンニク、ルバーブの栽培検証実施	通年	
・荒廃農地解消に向けた取り組みに対する市独自の補助制度の推進【市再生協】 [定量-1]	通年	交付対象者 団体 2 件 個人 1 人 解消済面積 281 a	通年	
[定量-2]		■耕作放棄地全体面積・・・39.2ha		

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑤-3 耕作放棄地の解消支援

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国および市費を活用した耕作放棄地解消支援への取り組み・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・国および市費を活用した耕作放棄地解消支援への取り組み・支援 ・関連部署が連携し荒廃農地発生防止への取り組みを実施 ・広報紙を活用した補助事業取り組みの案内および周知
	○不十分だった取り組みや項目、その要因	
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・点在する耕作放棄地の解消 ・広報紙への補助事業取り組みの案内および周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・点的に発生する耕作放棄地への取り組み 	

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑤耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
事業名	⑤-4 中山間地域等直接支払
目的	農業生産条件が不利な状況にある地域における、農地・農村機能の維持と生産性の継続
目標	農作物の作付率・・・90.0%
担当課・係	農政課集落支援担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
・中山間地域等直接支払交付金 (11 集落・約 86ha の活動に対する 国・県・市からの交付金) [定量-1]	通年	交付確定集落 11 集落 交付確定額 14,844,796 円 交付確定面積 86.1ha	通年	市農業農村振興計画推進委員会にて点検・評価
・安曇野市中山間地域農業直接支払事業 (上記の対象とならない4集落・約 24ha の活動に対する市単交付金) [定量-1]	通年	交付確定集落 4 集落 交付確定額 2,543,603 円 交付確定面積 24.2ha	通年	
[定量-2]		■農作物の作付率・・・88%		

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑤-4 中山間地域等直接支払

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・集落協定に基づく、協働による現地確認の実施 ・併せて、国に準じた市単による取り組み支援を行い、中山間地域における農業生産の不利条件を是正 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落協定に基づく、協働による現地確認の実施 ・併せて、国に準じた市単による取り組み支援を行い、中山間地域における農業生産の不利条件を是正
	○不十分だった取り組みや項目、その要因	
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
○改善策		
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域直接支払制度における取り組み面積（協定農用地）の維持 	

■プロジェクトの基本事項

重点PJ名	⑤耕作放棄地を減らして安曇野の風景を守る
事業名	⑤-5 多目的機能支払交付金事業 (旧 農地・水保全管理支払交付金事業)
目的	農地の多面的機能の維持等を図るため、農業者が共同して取り組む地域活動や、農業用水路・農道等の維持補修への活動に支援する
目標	活動組織の数 50 組織 取り組み率 47% (面積 2,900ha)
担当課・係	耕地林務課 耕地担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
多面的機能 (農業用水路・農道の草刈り、泥上げ、砂利補充等) を支える組織の拡充を図る。 【H27 組織数】 48 組織 [定量-2]	通年	多面的機能 (農業用水路・農道の草刈り、泥上げ、砂利補充等) を支える組織の拡充を図ることができた。 【H28 組織数】 51 組織	通年	A
遊休荒廃地への取り組みや農道・水路敷き等の草刈り作業を実施し安曇野の風景や景観を守る。 【H27 取組状況】 ・取り組み面積 2,630ha ・農振農用地面積 6,074ha ・取組率 約 43% [定量-2]	通年	遊休荒廃地の解消や農道・水路敷きの草刈りの作業により、安曇野の風景や景観を守ることができた。 また取り組み面積は約 190ha 拡大できた。 【H28 取組状況】 ・取り組み面積 2,820ha ・農振農用地面積 6,074ha ・取組率 約 46%	通年	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑤-5 多目的機能支払交付金事業

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
総合評価 (Check)	○効果的だった取り組みや項目	
	・出前講座等の開催や住民の事業への理解や参画により、昨年より3組織、取組面積が約190ha増加した	・多面的機能の組織の活動により遊休荒廃地の未然防止や農道・水路敷等の草刈り作業を実施し、安曇野の風景や景観を守ることができた
	○不十分だった取り組みや項目	
	・特になし	・特になし

■次年度への展望と課題など

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
改善 (Action)	○改善策	
	・特になし	・出前講座の開催により、次年度に3組織、約120ha増加する計画で進めている
	草刈りについて、過剰な草刈りがイナゴやチョウの減少につながっているのではないかと。人、農業、自然が共生できる効果的・丁寧な草刈りの手法を検討していただきたい。（委員）	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑥地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
事業名	⑥-1 直売加工施設運営事業
目的	直売所の運営による地域農業の活性化
目標	① 直売所での売り上げの増加・・・13 億 2,800 万円 ② 参加農家の確保・・・560 戸
担当課・係	農政課マーケティング担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
① 現在の直売所売上げは、増加傾向ではないが目標の 13 億 2,800 万円に近づくよう、各直売所でのイベントを実施させ取り組みたい。 [定量-2]	通年	約 17.4 億円 (市内 12 カ所直売所) 達成率 131.2%	通年	市農業農村振興計画推進委員会にて点検・評価
② 市内直売所に対し、農家の確保と開拓説明会を実施してもらい、参加農家数を増やす。 (目標 560 戸) [定量-2]	通年	出荷農家数 793 戸 (3 月末時点) 目標設定戸数から見た 達成率 141.6%	通年	

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑥-1 直売加工施設運営事業

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
総合評価 (Check)	○効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> 旬な農産物の時期や、収穫に合わせ、各直売所で販売イベントを実施している。 特に、各種イベントでの連携や施設間連携が見受けられる。 生産者確保については、直売所ごと年初めに出荷農家説明会等を開催し、出荷農家の確保を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の旬な時期や収穫に合わせ、各直売所で販売イベントを実施している。 各直売所において決算時期になっているため、今後の売上目標を定めながら、出荷農家の確保の説明会を行っている。
	○ 不十分だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし

■次年度への展望と課題など

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
改善 (Action)	○改善策	
	<ul style="list-style-type: none"> 各直売所との連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回、直売所連絡協議会を開催し、直売所ごとの情報共有を行っているが、競合施設であるため、年間通しての連携は難しい。 そのため、市が行うイベント事業では連携を図り、取り組んでいる。

■プロジェクトの基本事項

重点PJ名	⑥地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
事業名	⑥-2 地産地消の推進(その1)
目的	学校給食における、地元食材(県内産)の使用率向上
目標	① 使用率 100%を維持・・・100% ② 域産豚肉の使用率の増加・・・10%
担当課・係	農政課マーケティング担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
① お米は、現在の使用率を維持する他に、学校給食等での使用頻度を増やす。 ※3日/週の米飯給食を4日/週に使用率を上げる。 [定量-2]	通年	お米は、全量安曇野産を使用し、月1回の安曇野の日には「風さやか」を使用している。 使用回数については、献立の多様性を確保するため、週約3.7回の実施となっている。	通年	市農業農村振興計画推進委員会にて点検・評価
② 地域産豚肉の使用及び増加へつながるように図る。 ※現在長野県産の豚肉を100%使用している。その中で安曇野産の使用率を上げる。 [定量-1]		現在、長野県産の豚肉の使用が大部分である。 安曇野の日に使用する場合は安曇野産でお願いし仕入れている。 普通の日でも安曇野産豚肉を納入してくれる日があるため、使用量は増えてきている。 (全体で15%程度である)		

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量/目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑥-2 地産地消の推進（その1）

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における地元産米の使用は100%を維持と使用頻度の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食で、米飯を使用してもらえよう学校給食担当者との取り組み3月末の結果では週約3.7回の実施 ・地域産豚肉の使用については、学校給食で安曇野産豚の使用を増加し、前年度比5%増（H27-10%） 	
○不十分だった取り組みや項目		
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<ul style="list-style-type: none"> ・米や豚肉については一定の成果が出ているので継続されたい。りんごや玉ねぎなど、他の品目についても検討していただきたい。（委員） 		

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点PJ名	⑥地元産農産物の地域内での消費拡大をはかる
事業名	⑥-2 地産地消の推進 (その2)
目的	学校給食における、地元食材 (県内産) の使用率向上
目標	「安曇野の日」【月 1 回】及び「ご飯の日」【年 30 回】の実施回数…42 回/年
担当課・係	学校教育課学校給食担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
<p>安曇野の旬の食材を多く使う「安曇野の日」(毎月 19 日を基本)を月 1 回実施。</p> <p>また、基本週 3 回の米飯給食の実施日に加え、麺類・パンの給食日から米飯給食に年間 30 回を振替えて安曇野の米の消費を増やす。</p> <p>[定量-2]</p> <p>週約 3.5 回の安曇野産のコメを使用した米飯給食の実施。</p> <p>新品種「風さやか」の積極的な利用を進める。</p>	通年	<p>安曇野の日は毎月実施できた。実施時は旬の安曇野の食材を使用することができた。(風さやかの使用)</p> <p>米飯給食については、献立のバランスがあるため週約 3.7 回の実施となっており、これ以上の増加は望めない。</p>	通年	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C
 定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E
 定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑥-2 地産地消の推進（その2）

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定通り米飯給食回数を実施 ・ 安曇野の日の予定通りの実施 ・ 「コシヒカリ」の一部を奨励品種の市内産「風さやか」を増やして使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度後半についても予定通り実施 ・ 1年を通じて週約3.7回の米飯給食の実施となった
	○ 不十分だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定通り実施していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度と同様の取り組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米や豚肉については一定の成果が出ているので継続されたい。りんごや玉ねぎなど、他の品目についても検討していただきたい。（委員） 	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑦豊かな地下水を保全する
事業名	⑦-1 水資源保全対策事業
目的	安曇野の水資源の保全、涵養、適正利用
目標	転作田湛水面積・・・60ha
担当課・係	環境課環境保全担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
地下水保全条例の運用 ・新規地下水採取者届出 ・地下水採取量年次報告 [定量-1]	通年 5月末	採取者届 10件 事前協議 1件 採取量報告 受付 106件	4月～	A
地下水モニタリング (地下水・湧水・わさび田の水位 測定、地下水の水質検査) [定量-1]	通年	<u>水位測定</u> 地下水 8箇所 湧水 2箇所 わさび田 2箇所 <u>水質検査</u> 井戸 28箇所	4月～ 9月・2月	A
地下水資源強化 ・転作田湛水 60ha [定量-2]	7月 ～9月	<u>涵養面積</u> 58.7458ha (30農家・383ほ場) <u>推計涵養量</u> 112.8万t	7月 ～9月	A
水環境基本計画の策定 [定量-1]	3月末	<u>策定委員会の開催</u> マスタープラン骨子の協議 マスタープラン素案 } の協議 アクションプラン骨子 } 素案の協議 素案の決定 案の決定	6/23 9/20 10/17 10/24 1/16	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C
 定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E
 定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑦-1 水資源保全対策事業

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容説明会 4月7日 申請書提出期限 5月20日 実施者対象説明会 6月17日 実施実績7～9月 58.74ha 事業報告会 12月16日 <p>麦の収穫作業が6月中旬～下旬のため、当初説明会を4月上旬の開催することで、スムーズな事業実施ができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告会を12月16日に開催し、出席者にアンケートを行った ・連作障害対策、抑草効果といった品質確保や除草作業軽減の効果が確認された 	
○不十分だった取組や項目		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標面積に達しなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果の検証が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑧臭気規制を導入する
事業名	⑧-1 臭気規制の導入
目的	悪臭防止法に基づく臭気規制の導入
目標	臭気規制導入に伴う悪臭防止法の適正な運用
担当課・係	環境課環境保全担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
悪臭防止法に基づく適正な指導 [定量-1]	随時	臭気改善計画に基づく対策の進捗管理 ・巡回調査の実施 ・臭気指数測定 →基準値内 ・計画履行状況確認 →不備事項を指摘	・ 8 月～ 12 月 ・ 12 月下旬 ・ 2/27、 3/9	A
運用状況の環境審議会への報告 [定量-1]	随時	第 1 回環境審議会 「三郷畜産臭気対策について」 ・ H27 前年度の結果 ・ H28 年度の対策内容を報告	5/17	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑧-1 臭気規制の導入

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
総合評価 (Check)	○効果的だった取り組みや項目	
	・臭気低減対策が必要な事業者に対して指導を行い、改善計画が提出され、臭気低減対策が行われている	・改善計画に沿った対策が実施された ・2月下旬に履行状況を確認し、不備のある部分を指摘し、対策を指導した
	○不十分だった取り組みや項目	
	・どの程度臭気が低減するのか、事前の判断が難しい	・改善後の状況を維持していくための日常管理を指導していく必要がある

■次年度への展望と課題など

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
改善 (Action)	○改善策	
	・改善計画書に基づいた対策が取られているか、進捗状況のチェックと対策の効果を検証する	・改善対策が行われたが、対策後の良好な状態を維持するための日常管理が必要

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑨ごみを減らそう
事業名	⑨-1 ごみ減量化再利用対策事業 (家庭系)
目的	家庭系一般廃棄物の減量・資源化
目標	家庭系ごみ排出量 (市民 1 人 1 日当たり) …505 g リサイクル率…30.5%
担当課・係	廃棄物対策課廃棄物対策担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
ごみの適正分別指導・啓発 [定量-1]	通年	① 5 地域ごとの環境部長会議を開催 ②環境部長視察研修会(資源化)を開催 ③広報紙による、ごみ減量・資源化の啓発 ④ごみカレンダー配布	4 月 6 月～11 月 通年、12 月に特集 2 月～3 月	A
生ごみ処理機器等購入費補助金 交付事業 [定量-2]	通年	交付決定件数 75 件 交付決定額 1,357,300 円 (執行率 46.8% 3 月末)	通年	C
緑のリサイクル事業 [定量-1]	4 月～11 月	5 カ所に排出置き場を設け、チップ化処理と市民への提供を行った。 処理量: 125,090 kg (11 月末)	4 月～11 月	A
使用済み小型家電回収事業 [定量-1]	通年	庁舎・支所・大型店舗に設置した回収ボックスや、市内 3 カ所のリサイクルセンターで拠点回収を行った。 回収量: 51,179 kg 売却額: 296,887 円 (3 月末)	通年	A
家庭系ごみ排出量 目標: 505 g [定量-2]		■家庭系ごみ排出量 (市民 1 人 1 日当たり) … 468 g		A
リサイクル率 目標: 30.5% [定量-2]		■リサイクル率 … 17.9%		C

※定量-1: 実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2: 実施数量/目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E

定性: 良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑨-1 ごみ減量化再利用対策事業（家庭系）

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
総合評価 (Check)	○ 効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済み小型家電回収事業 回収ボックスを置いていただく大型店舗を増やした。防災無線の戸別受信機の回収も危機管理課と協力して実施した。 回収量：33,074 kg（前年比 19%増） （9月末現在） 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済み小型家電回収事業 事業を継続し、ほぼ昨年と同量の小型家電を回収することができた。 回収量：51,179 kg
	○ 不十分だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機器購入費補助金交付事業 予算額に対する執行率が28%と低い （9月末現在） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機器購入費補助金交付事業 予算額に対する執行率が46.8%と低かった。

■次年度への展望と課題など

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
改善 (Action)	○改善策	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機器購入費補助金交付事業は、ここ数年実績が減少傾向にある。前回から5年以上経過した場合の買い替えも対象になることなど内容の周知を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機器購入費補助金交付事業は、広報紙で啓発したが執行率が低かった。前回から5年以上経過した場合の買い替えも対象になることなど再度、内容の周知を図りたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル率が目標達成に至らなかった要因を分析し、減量につながるような広報活動を展開していくべき。（委員） 	

■プロジェクトの基本事項

重点PJ名	⑨ごみを減らそう
事業名	⑨-2 ごみ減量化再利用対策事業 (事業系)
目的	事業系一般廃棄物の減量・資源化
目標	事業系可燃ごみ排出量・・・7,891t
担当課・係	廃棄物対策課廃棄物対策担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
市有施設のごみ排出抑制、資源化を検証し改善指導 [定量-1]	通年	① 公文書の廃棄における分別資源化の促進・指導(庶務法規担当) ② 焼却に代わる処分方法として、製紙業者へ持ち込み溶融・資源化する方式を継続。 処分量：21,460 kg (3月末)	10/5 12/20 通年	A
事業系ごみの展開検査と分別収集指導 [定量-1]	通年	穂高クリーンセンターにおける展開調査に構成市町村として参加(1回実施)	6/13	A
事業者への減量化と適正処理の協力要請 [定量-1]	通年	食品ロス削減啓発用コースターを配布 事業者から排出される資源物を市のリサイクルセンターで受け入れ可能にするため、条例改正の準備(H29年6月改正予定)。	通年	A
収集運搬業者に向けた研修会 [定量-1]	7月	収集運搬許可業者の許可更新時に説明・依頼	6月 ～8月	A
事業系可燃ごみ排出量 目標：7,891t [定量-2]		事業系可燃ごみ排出量・・・10,924t		C

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑨-2 ごみ減量化再利用対策事業（事業系）

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
総合評価 (Check)	○ 効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市有施設のごみ排出、資源化を検証し改善指導 焼却に代わる公文書の処分方法として、製紙業者へ持ち込み溶解・資源化する方式を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・市有施設のごみ排出、資源化を検証し改善指導 焼却に代わる公文書の処分方法として、製紙業者へ持ち込み溶解・資源化する方式を継続
	○ 不十分だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者への減量化と適正処理の協力要請 新たな取り組みができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者への減量化と適正処理の協力要請 新たな取り組みができていない。

■次年度への展望と課題など

	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
改善 (Action)	○改善策	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者への減量化と適正処理の協力要請 事業者から排出される資源物を、市のリサイクルセンターで受け入れることを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者への減量化と適正処理の協力要請 事業者から排出される資源物を、市のリサイクルセンターで受け入れ可能にするための条例改正（29年6月改正予定）を進めた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市と関連事業者と連携して、市全体のゴミのリサイクル率を把握していくことは考えていないか。市全体のリサイクル率を求めているかどうか。（委員） 	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑩環境マネジメントシステムを導入する
事業名	⑩-1 環境マネジメントシステムの構築と運用
目的	安曇野市がその事業実施の中で自主的に環境保全に関する取り組みを進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、達成に向けて取り組む
目標	エコアクション 21 の認証・取得
担当課・係	環境課 環境政策係

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
実施及び運用継続 [定量-1]	通年	対象施設における取り組みの実施	通年	A
認証・取得	環境活動レポート作成 [定量-1]	4月 ～6月	環境活動レポート作成 7/25	A
	審査申込及び書類審査 [定量-1]	7月	審査申込 書類審査 8/12 9/28	A
	予備審査及び現地審査 [定量-1]	8月	予備審査 現地審査 10/18 11/8・9	A
	認証・登録 [定量-1]	10月	認証・登録 1/31	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑩-1 環境マネジメントシステムの構築と運用

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
<ul style="list-style-type: none"> ・「環境活動レポート」を作成した ・「環境経営マニュアル」を策定した ・現地審査の日程調整ができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地審査実施 ・エコアクション 21 認証取得 (H29. 1. 31) 	
○不十分だった取り組みや項目		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度新規対象施設への取り組み依頼の対応が遅れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者施設の取り組みの調整 ・グリーン購入の周知不足 	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度新規対象施設への取り組みについて詳細な説明指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入目標値の新たな設定 (消耗品費予算額 10%以上の購入) ・新規対象施設への取り組み対応 ・指定管理者施設を対象施設とする基準の設定 	

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	⑩自然エネルギー導入を進める
事業名	⑩-1 住宅用太陽エネルギー導入システムへの補助金交付事業
目的	自然エネルギーの活用による自然環境の保全
目標	住宅用太陽光発電システム設置補助事業・・・補助金額 2,800 万円 住宅用太陽熱高度利用システム設置に対する補助金交付事業・・・補助金額 50 万円
担当課・係	環境課環境政策係

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
住宅用太陽光発電システム 設置補助事業 (1 キロワット当たり 3 万円の 補助金交付。限度額 12 万円。) 予算額 2,800 万円 目標設置件数 230 件 目標発電量※ 1,140,800 kWh 目標削減量※ 約 575 t-CO ₂ (本年度設置分の延べ目標推計年間発電量) (昨年度 1 件当たり平均 4.96kW×230 件) ※(一社)太陽光発電協会による http://www.jpea.gr.jp/index.html [定量-2]	通年	申請件数 193 件 発電量 1,018,790 kWh CO ₂ 削減量 約 513.47 t-CO ₂ 参考 (前年度比) 申請件数 ▲20 件 発電量 ▲5,170 kWh CO ₂ 削減量 約▲2.61 t-CO ₂	4月～ 3月	B
住宅用太陽熱高度利用システム 設置に対する補助金交付事業 (システム設置費経費の 1/5 の 補助金交付。限度額 4 万円。) 予算額 50 万円 目標申請件数 12 件 目標集熱量※ 147,180MJ (本年度設置分の延べ目標年間有効集熱量) (昨年度 1 件当たり平均 12,265MJ×12 件) ※(一社)ソーラーシステム振興協会による http://www.ssda.or.jp/energy/merit.html (試算条件) ・年間有効集熱量：年間傾斜面日射量 1,300,000kcal/㎡(5,442MJ/㎡) ・集熱効率：40% ・燃焼効率：80% ・1kcal=4.18605k ・その他、(一社)ソーラーシステム振興協会 データブックによる [定量-2]	通年	申請件数 1 件 有効集熱量 13,648 MJ CO ₂ 削減量 約 1.01 t-CO ₂ (LP ガス使用時との比較) CO ₂ 削減量 約 1.16 t-CO ₂ (灯油使用時との比較) 参考 (前年度比) 申請件数 ▲3 件 有効集熱量※ ▲35,414 MJ CO ₂ 削減量 約▲2.61 t-CO ₂ (LP ガス使用時との比較) CO ₂ 削減量 約▲3.00 t-CO ₂ (灯油使用時との比較)	4月～ 3月	E

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑪-1 住宅用太陽エネルギー導入システムへの補助金交付事業

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
	・各種補助金の案内チラシの作成及び 松本地方事務所建築課への設置	・市ホームページにおける受付件数の更新
	○不十分だった取組や項目	
・市ホームページのこまめな更新による 情報発信	・実績報告書の提出の促し	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
○改善策		
・市ホームページの更新を行う（1月時点での受付可能額の表示により申請を促す） ・業者聞き取りによる太陽光導入状況の把握	・完了予定日をもとに交付決定者または施工業者への実績報告依頼を随時行う	

平成 28 年度 重点プロジェクト別 点検評価書 (中間時 / 年度末時)

■プロジェクトの基本事項

重点 PJ 名	①自然エネルギー導入を進める
事業名	①-2 小水力発電の調査・検討・活用の取り組み
目的	農業水利施設を利用した水力発電により土地改良施設の電力需要に対処し、または、余剰電力を電力会社に売電することによって、土地改良施設の維持管理費を軽減する
目標	管内土地改良区施設における小水力発電所の設計 新規発電所の建設計画の推進
担当課・係	耕地林務課 耕地担当

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
平成 27～28 年度 有明土地改良区が実施する小水力 発電事業に対する支援。 [定量-2]	1 カ所	○製作中の水力発電装置 について、市職員を派遣し 工場検査を実施 富山県：(株)北陸精機自社工 場にて ○H28 事業完了に伴い市か ら建設負担金を支出予定 事業費の 22.5%を負担 5,895=26,200×22.5% (単位：千円) ※総事業費 (H27～28) 78,600 千円 うち市負担額 17,685 千円	5/16 3 月末日	A
平成 28 年度中信平左岸土地改良 区が実施する小水力発電事業に対 する計画について支援。 [定量-2]	1 カ所	○地元説明会への出席 ○地元同意に伴う計画内 容の見直し協議 ○改良区理事会において 事業廃止を決定 12 月補正により予算削除 △25,875 千円	6/14 8/9 10/7	C

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C

定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100⇒A 60～89⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E

定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑪-2 小水力発電の調査・検討・活用の取り組み

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
	・中信平左岸土地改良区における計画に対する協議、調整	・有明土地改良区が建設した小水力発電事業に対し、建設負担金を支出した
	○不十分だった取り組みや項目	
・新たな建設候補地の計画、選定 ・実施団体との連携	・計画を中止した中信平左岸土地改良区の小水力発電事業については、建設地周辺住民との合意形成など丁寧な説明を行った経緯がなかった	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
	・県土地改良施設エネルギー活用推進協議会に専門技術者の派遣を依頼し、建設候補地の選定を行い、水利管理者及び民間事業者に情報提供を行う	・市は計画機関が発電事業を立案する初期の計画段階から協議し、市民への情報提供や関係機関との連絡調整を積極的に行うなど支援体制を強化する
	・長野県地球温暖化活動推進員の立場として、自然エネルギーに関してご説明することが可能であるので声を掛けてほしい。（委員）	

■プロジェクトの基本事項

重点PJ名	①自然エネルギー導入を進める
事業名	①-4 地中熱の調査・検討・活用の取り組み
目的	環境共有資源である地下水・地盤環境の持続可能な利用を行うと共に地中熱利用の普及促進
目標	新規導入事業の検討
担当課・係	関係各課

■平成 28 年度の実施状況

Plan		Do		Check
内容	予定	結果	実施日	点検・評価※
・ 公共施設への導入の検討と実証 [定量-1]	通年	【たつみ保育園】 ○調査検討実施についての伺い ○事業者からの資料収集最終提出 ○池田保育園訪問調査調査レポート作成 ○朝日保育園訪問調査 ○12月議会一般質問（事前に理事者レク）「検討する」と回答 ○県内3市町村調査（メール） ○比較検討資料作成 ○実施計画理事者査定内での打ち合わせ	7/13 9/20 10/14 12/6 12/7 1/11 1/13 2/9	A

※定量-1：実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C
 定量-2：実施数量／目標数量×100= 90～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
 定性：良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

■本年度の実績評価 ⑪-4 地中熱の調査・検討・活用の取り組み

総合評価 (Check)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○効果的だった取り組みや項目	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ たつみ保育園建設に際して検討実施の伺い ・ 事業者からの資料収集 (導入シミュレーション、比較検討資料の作成等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内先進地への訪問（池田町、朝日村） ・ 情報整理・レポート作成 ・ 県内他市町村データ収集（須坂市・箕輪町・川上村） ・ 比較表作成 ・ 実施計画査定時他の理事者打ち合わせ
	○不十分だった取り組みや項目、その要因	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進地訪問（聞き取り） 	

■次年度への展望と課題など

改善 (Action)	総合コメント	
	4月～9月（前期）	10月～3月（後期）
	○改善策	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進地訪問と方向性の内部決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施設計前段階での意思決定

4 参考資料

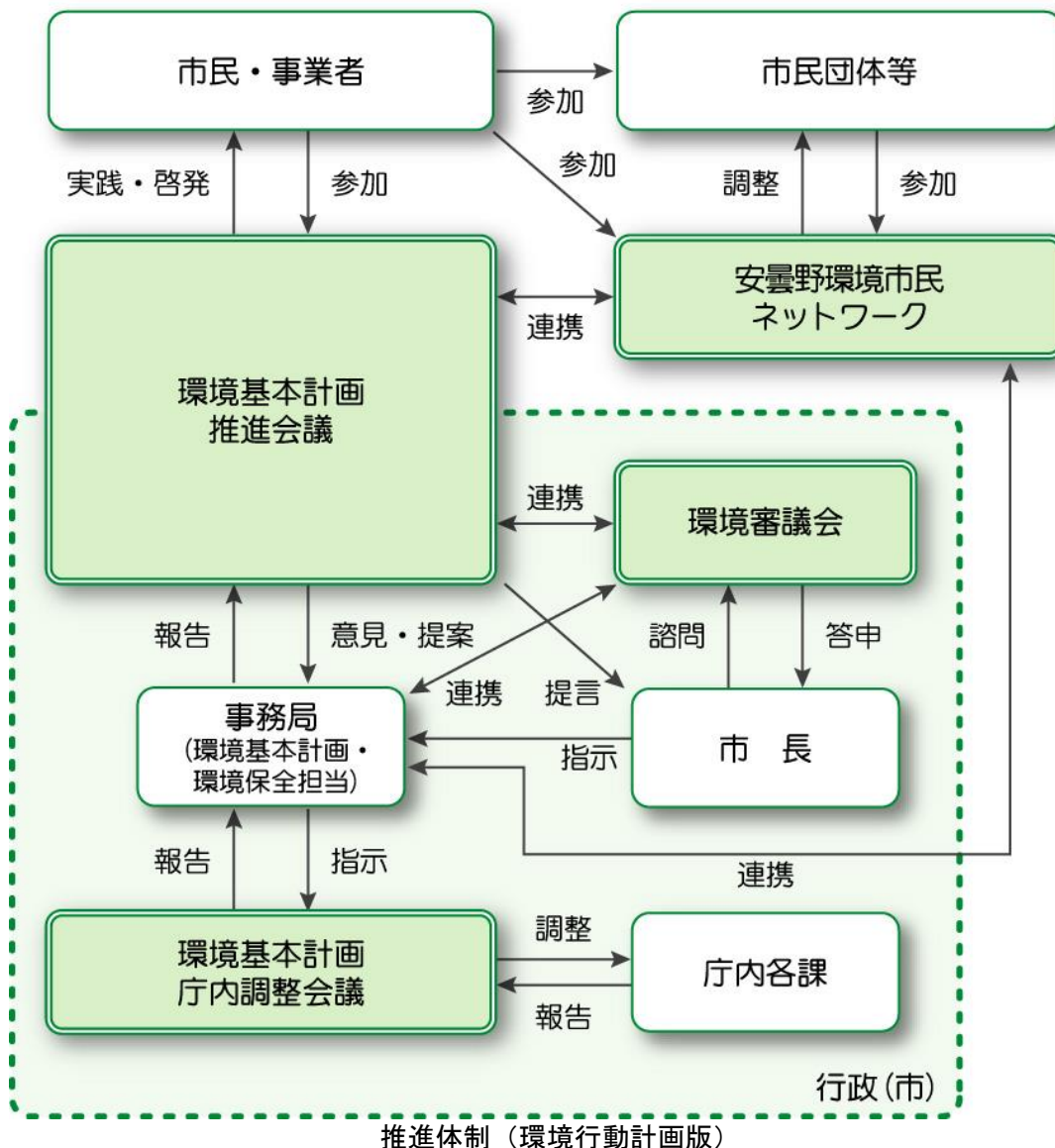
4.1 参考資料1：環境基本計画の推進体制と進行管理

【推進体制】

環境基本計画は、市民・事業者・行政、その他関係する組織・団体など、さまざまな主体の各自の取り組みと、相互の連携や協働によって推進する必要があります。

環境基本計画を受けて策定した環境行動計画において定めた推進体制を、下の図に示しました。中核となるのは、市民・事業者・行政を含めた組織である「環境基本計画推進会議」であり、市全体としての計画の進捗状況の把握、課題点および対応策の検討などを行う機能です。このほか、行政内部の調整組織である「環境基本計画庁内調整会議」、専門的な見地から計画の達成・進捗状況を点検・評価する「環境審議会」のそれぞれが連携して計画の推進をはかります。

また、平成21年9月に発足した「安曇野環境市民ネットワーク」も、さまざまな市民団体などをとりまとめ、団体間の調整・連携を図るとともに、事業者・行政との協働の窓口として機能します。



【進行管理】

マネジメントの基本的なサイクルである PDCA サイクルに従い、毎年改善を図ります。

このサイクルは、毎年においては年間の取り組み予定をまとめた実施計画と取り組み結果をまとめた年次報告書が基本となります。

第一次行動計画では、環境基本計画推進会議と安曇野環境市民ネットワーク（以下、「ネットワーク」という。）および環境基本計画庁内調整会議（以下、「庁内調整会議」という。）との連携が十分ではありませんでした。そこで第二次行動計画では、この連携体制についても強化を図ります。PDCA サイクルの段階ごとの各主体の役割について、以下に示します。

① 計画する (Plan)

取り組みを企画し、関係者と調整の上、市民・事業者に対して広報・周知します。

- 推進会議
 - 庁内調整会議
- 相互に連携しながら取り組みを企画し、実施計画を作成して、情報を市民・事業者へ広報・周知します。
- ネットワーク：企画を共有し、協議の上、主体的に所属団体の計画に反映します。
 - 市民・市民団体等・事業者：取り組みの情報を入手します。

② 実行する (Do)

企画に基づいて実践・啓発を行い、市民・事業者の参加を図ります。

- 推進会議：庁内調整会議、ネットワークと連携して、実践・啓発を行います。
- 庁内調整会議：環境基本計画推進会議、ネットワークと連携して、実践・啓発を行います。（ネットワークへの説明など）
- ネットワーク：環境基本計画推進会議、庁内調整会議と連携して、啓発を行います。（所属団体への参加の呼びかけなど）
- 市民・市民団体等・事業者：プログラムに積極的に参加します。

③ 点検する・評価する (Check)

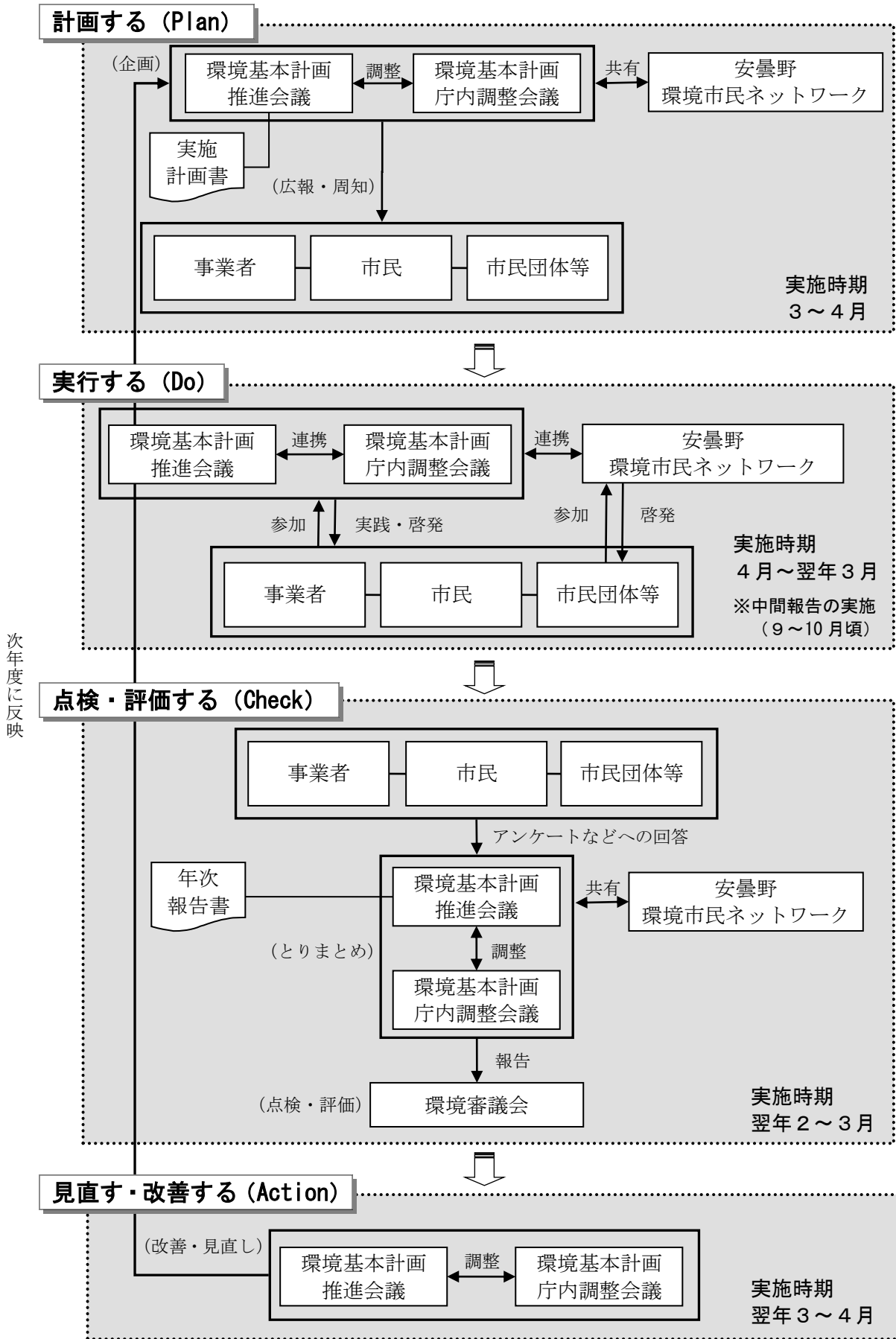
取り組みの結果を集約し、各会議に報告して、点検・評価を受けます。

- 推進会議
 - 庁内調整会議
- 相互に連携しながら取り組みの結果をとりまとめ、年次報告書を作成して環境審議会に報告します。
- ネットワーク：所属団体の活動結果をとりまとめ、環境基本計画推進会議、庁内調整会議と情報共有します。
 - 市民・市民団体等・事業者：取り組みに参加した結果を、アンケートへの回答などにより報告します。
 - 環境審議会：年次報告書について、点検・評価します。

④ 見直す・改善する (Action)

点検・評価の結果についてとりまとめ、改善点を次年度の計画へ反映します。

- 推進会議
 - 庁内調整会議
- 相互に調整を図りながら、改善点を整理し、次年度の計画へ反映します。



進行管理（環境行動計画版）

4.2 参考資料2：安曇野市環境基本計画推進会議委員 名簿

役職	氏名	所属など	区分	備考
会長	植松 晃岳	旧環境基本計画策定委員	市長推薦	
副会長	岡江 正	長野県建築士会 安曇野支部	環境関連団体 代表	
委員	川井 敏克	安曇野市商工会	事業団体代表	
	飛永 満 (H28. 4. 1～H29. 1. 16) 小坂 賢士 (H29. 1. 17～)	安曇野工業会		
	三村 照子	安曇野市農業委員会		
	青柳 聡	J Aあづみ		
	望月 静美	安曇野市消費者の会	環境関連団体 代表	
	太田 忠雄 (H28. 4. 1～H28. 11. 21) 樋口 嘉一 (H28. 11. 22～)	安曇野地球温暖化協議会		
	横田 耕太郎	安曇野環境市民ネットワーク		
	口村 孝		公募委員	
	佐々木 俊之	一般財団法人 公園財団	市長推薦	
	丸山 潔	松本むしの会		
	腰原 正己	日本野鳥の会		
	重野 義博	区長会		

(任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日)



推進会議の様子（平成28年11月22日）

4.3 参考資料3：写真アルバム 安曇野環境フェア2016



開会式



メインアリーナ



屋内ブース（パネル展示）



屋内ブース（体験コーナー）



屋外ブース



ホーボーズ・パペットシアター



リサイクル自転車の抽選・頒布



環境活動発表会（学校）



環境活動発表会（団体・企業）



触れる地球の展示



おもしろサイエンスショー



集合写真

4.4 参考資料4：安曇野環境フェア2016 出展団体一覧

分類	出展団体名	分類	出展団体名
環境全般	安曇野環境市民ネットワーク	生活	長野県松本地方事務所（農地整備課）
	安曇野工業会		安曇野市下水道課、犀川安曇野流域下水道事務所、（公財）長野県下水道公社安曇野事務所
	安曇野地球温暖化協議会		生活クラブ生活協同組合
	安曇野市環境基本計画推進会議		安曇野市消費者の会
	安曇野市環境課		染色工房
	歩いて楽しいまちづくりプロジェクト		J A あづみ青壮年部
	キッセイ薬品	景観	安曇野百選プロジェクト
	(株)サクセン		NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団
	信州環境フェア実行委員会		安曇野まちなかにぎわいプロジェクト
	信州大学松本キャンパス 環境 I S O 学生委員会		三角島ふるさとの森プロジェクト
自然	環境省長野自然環境事務所	景観	屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
	長野県烏川溪谷緑地市民会議		安曇野市建築住宅課
	田淵行男記念館 こども自然観察教室「むしの会」	エネルギー	かえる311
	NPO 法人 川の自然と文化研究所		(株)角藤 環境ソリューション室
	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会		(株)サンジュニア
	信州水環境マップ・ネットワーク		日本チェルノブイリ連帯基金 T e a m めとぼ
	安曇野緑の会		太陽力(株)
	長野県烏川溪谷緑地 環境管理事務所		(株)竹村製作所
	NPO 法人 森倶楽部21		ハーロムアルマ
	さとふる。		長野県環境部環境エネルギー課 (株)環境エネルギー総合研究所
B O - G A	エコ倶楽部信州		
生活	安曇野市不要食器リサイクル実行委員会		エネルギー
	安曇野市廃棄物対策課	パナソニック(株) 松本営業所	
	安曇野の快適な暮らしを求める会	中部原子力懇談会	
	(株)ちくま精機	アルファ機械産業(株)	
	マックスバリュ長野(株)	環境学習	三郷小学校
	NPO 法人 あづみ野風土舎		明科中学校
	(株)キクイチ		あづみ野エフエム放送(株)
	生活協同組合コープながの		マイ箸づくりサポートボランティア
	安曇野建築三会		エクセラン高等学校
	エコ・グラウンド		

4.5 参考資料5：安曇野環境市民ネットワーク 活動アンケート結果

ネットワーク登録団体間や、環境基本計画推進会議との情報共有を目的として、登録団体の平成28年度における活動状況についてアンケートを依頼したところ、全27団体のうち、15団体より回答いただきました。

報告を受けた団体一覧

活動分野	団体名
地球温暖化	安曇野地球温暖化協議会
景観	安曇野百選プロジェクト
環境	NPO 法人 あづみ野風土舎
景観、農林	NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団
景観	アルプス花街道実行委員会
景観	潮沢ロマンの会
自然	長野県烏川溪谷緑地 烏川溪谷緑地市民会議
自然	NPO 法人 川の自然と文化研究所
景観	三角島ふるさとの森プロジェクト
自然、環境	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会
自然、生活	生活協同組合コープながの
自然	田淵行男記念館 こども自然観察教室「むしの会」
自然、景観	NPO 法人 森倶楽部21
景観	屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
自然	野生生物資料情報室

(50音順)

アンケート回答がありました団体の年間活動記録について以下に掲載します。

団体名	安曇野地球温暖化協議会
記入者名	樋口 嘉一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月11日	「エコアクション 21」説明・勉強会	安曇野合同庁舎	6人
6月4日	安曇野市 緑のカーテン講座 「私達の暮らしと地球温暖化～IPCC AR5 から～」	安曇野市 本庁舎	42人
6月22日	温暖化の話を含め生き方講座	有明高原寮	11人
7月7日	エコアクションについての説明会	訪問先事業者	3人
9月16日	ISO14001:2015 規格解説研修会	安曇野合同庁舎	14人
10月8、9日	「安曇野環境フェア 2016」に出展	堀金総合体育館	1,900人 (来場者)
10月9日	「安曇野環境フェア 2016」にて環境活動発表会 「私達の暮らしと地球温暖化～IPCC AR5 から～」	堀金総合体育館	25人
10月9日	「安曇野環境フェア 2016」にて「うちエコ診断」	堀金総合体育館	1人
10月26日	温暖化の話を含めて生き方講座	有明高原寮	7人
10月27日	大北地域高齢者交流会 ～地球温暖化防止と家庭の省エネ～ ・「私たちの暮らしと地球温暖化～IPCC AR5 から」 ・「COOL CHOICE 省エネガイド2016」	大町フレンド プラザ	45人
10月28日	ISO14001:2015 システム構築研修会	安曇野合同庁舎	14人
10月29日	安曇野市環境課との情報交換会	安曇野市 本庁舎	6人
11月28日	ISO14001:2015 監査に関する研修会	ビレッジ安曇野	13人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 安曇野環境フェア 2016 への出展

理由 : 子供たちやその家族と接し、環境のことを考え体験する、良い機会となった。

団体名	安曇野百選プロジェクト
記入者名	宮崎 崇徳


日付	イベント・講座名	会場	参加人数
7月9、10日	信州安曇野北アルプスパノラマ銀座 山岳フェスタ出展	サンモリッツ	多数
8月11日	安曇野みちあかり(七夕)	保高宿	多数
11月16日	やまびこフォーラム 2016in 安曇野 出展	三郷公民館	多数
12月2、3日	安曇野みちあかり(神竹灯)	穂高神社	多数
2月5日	安曇野百選ウォークラリー	穂高神社	約50人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 安曇野百選ウォークラリー

理由 : 親子が楽しみながら地域の魅力を学ぶことができる。

団体名	NPO 法人 あづみ野風土舎
記入者名	今泉 一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
5月20日	「緑のカーテン」講座	穂高会館	30人
5月22日	「緑のカーテン広げよう」講座	安曇野市 本庁舎	70人
6月4日	環境課環カフェ緑のカーテン講師	きぼう	—
9月17日	緑のカーテン広げようコンサート	研成ホール	120人
10月8、9日	安曇野市環境フェア 出展	堀金総合体育館	1,900人 (来場者)
4月18日 6月13日 7月11日 8月22日 12月18日	イベントではありませんが 柏矢町三角地の植栽をしました。		

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 「緑のカーテン広げよう」講座

理由 : 環境にも心にも優しい、朝顔「オーシャンブルー」を育ててみたい人が増え、
緑のカーテンへの関心も高まっている。

団体名	NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団
記入者名	宮崎 崇徳

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
5月14～ 6月5日	安曇野さんぽ 2016 春(4回)	市内各地	約 70 人
7月9日～ 12月10日	さとやま楽校案内人の教室(6回)	国営公園	各 14 人
10月12日	第 23 回ふるさとウォッチング in 安曇野	穂高本郷	約 50 人
11月12日 ～20日	安曇野さんぽ 2016 秋(2回)	市内各地	約 30 人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : ふるさとウォッチング in 安曇野

理由 : ゆっくり歩きながら、地域の歴史文化を学ぶことができる。

団体名	アルプス花街道実行委員会
記入者名	事務局補佐 豊科地域課 奥谷 佳隆

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
5月28日 ～6月10日	アルプス花街道マリーゴールド一斉定植	国道 147 号ほか	1,500 人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : アルプス花街道マリーゴールド一斉定植

理由 : アルプス花街道事業の根幹であるイベントであるから。

団体名	潮沢ロマンの会
記入者名	事務局 環境課 深澤

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月5日	「さとやまさんぽ 2016 春 第 2 回岩州山(明科)」 主催:「安曇野ふるさとづくり応援団」への協力	明科潮沢区 岩州公園	25 人
7月17日	「明賀の歴史を探訪」 主催:「明科いいまちつくろうかい!!」への協力	明科明賀地区	30 人
8月6日	環境講座 歩いて楽しいまちづくりプロジェクト 「明科 岩洲山 善光寺裏街道を往く」	明科公民館	29 人
10月8日・9日	「環境フェア」での取り組みの照会	堀金総合 体育館	1,900 人 (来場者)
11月5日	環境講座「明科 岩洲山 ウォーキング」	明科潮沢区 岩州公園	30 人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : 環境講座 歩いて楽しいまちづくりプロジェクト「明科 岩洲山 善光寺裏街道を往く」
環境講座「明科 岩洲山 ウォーキング」

理由 : 講座内容にいままで知らなかった安曇野や地域の歴史や文化・資源などへの理解が深まる要素が取り入れられたことによる。

団体名	長野県烏川溪谷緑地 環境管理事務所
記入者名	佐々木 俊之

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月23、24日	第85回からすの学校 オオールリ観察会	烏川溪谷緑地 水辺エリア	49人
5月21日	第86回からすの学校 夏鳥の声感察会	烏川溪谷緑地 水辺エリア	27人
5月28日	第87回からすの学校 間道を歩く	烏川溪谷緑地 水辺エリア	20人
6月19日	第88回からすの学校 植物の楽しみ方と写真教室	烏川溪谷緑地 水辺エリア	14人
7月9日	第89回からすの学校 環境を森林から学ぶ	烏川溪谷緑地 森林エリア	16人
7月23日	第90回からすの学校 森林の持つ癒しの力について	烏川溪谷緑地 森林エリア	17人
7月30日	第91回からすの学校 カミキリムシ観察会	烏川溪谷緑地 水辺エリア	26人
8月11日	第92回からすの学校 ツキノワグマ学習会	烏川溪谷緑地 森林エリア	19人
8月13、14日	夏休みクラフト教室 テレイドスコープを作ろう	烏川溪谷緑地 水辺エリア	45人
9月24日	第93回からすの学校 葉でわかる樹木観察会	烏川溪谷緑地 森林エリア	18人
10月1日	第94回からすの学校 烏川の水と人との関わりについて(堰・水路の歴史)	烏川溪谷緑地 水辺エリア	10人
10月23日	第95回からすの学校 クルミ観察会	烏川溪谷緑地 水辺エリア	13人
11月3日	第96回からすの学校 ノルディック・ウォーキング(一の沢林道編)	烏川溪谷緑地 森林エリア	25人
11月5日	第97回からすの学校 ノルディック・ウォーキング	烏川溪谷緑地 水辺エリア	22人
11月12日	第98回からすの学校 コケ観察会 ～秋の信州でコケ散歩 コケを知れば、信州がもっと好きになる～	烏川溪谷緑地 森林・水辺エリア	23人
2月3日	第99回からすの学校 スノーシューハイク&アニマルトラッキング	烏川溪谷緑地 水辺エリア	予定
2月11日	スノーシュー体験(烏川林道)	烏川溪谷緑地 水辺エリア	予定
2月12日	スノーシュー体験(小野沢)	烏川溪谷緑地 水辺エリア	予定
3月18日	しいたけのコマ打ちと花炭づくり体験	烏川溪谷緑地 水辺エリア	予定

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : 第98回からすの学校 コケ観察会
～秋の信州でコケ散歩 コケを知れば、信州がもっと好きになる～

理由 : 近年の苔ブームの影響(八ヶ岳、京都、屋久島など)、また、とても身近な植物でありながら数多くの種類があり、図鑑や写真での種の同定が困難であるため、
専門家による観察会の開催が望まれていたため。

団体名	烏川溪谷緑地市民会議
記入者名	事務局 佐々木 俊之

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月17日	カタクリ観察会	烏川溪谷緑地 森林エリア	16人
7月31日	昆虫観察会 昆虫の目から見た棲みよい森づくり	烏川溪谷緑地 森林エリア	21人
10月22日	樹木の紅葉観察会	烏川溪谷緑地 森林エリア	26人
1月28日	桧(ひのき) 新月伐採 斧入れの儀 (非公開)	烏川溪谷緑地 森林エリア	15人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : 桧(ひのき) 新月伐採 斧入れの儀 (非公開)

理由 : 樹木の新月における伐採がもたらす効果の検証と伝統的な手法による伐倒作業を実施。先人たちの知恵や技術に対する畏敬の念とともに、樹齢70年以上この地で森を見つめ続けてきた大木を切り倒す(寝かせる)事への敬意をこめて、参加者一同神聖な儀式の場に立ち会えたことへの感謝の気持ち。

団体名	NPO 法人 川の自然と文化研究所
記入者名	事務局 松井 一晃

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月15日	松本市城北公民館 大門沢川のホタル観察会	大門沢川	30人
6月22日	松本市田川小学校 生きもの観察会	田川	50人
7月2日	松本ホタル学会 ホタルの観察会	せせらぎ	20人
7月16日	第11回川の自然と文化講演会	安曇野市役所	72人
8月10、11日	コープ長野 川の学校	せせらぎ	延べ45人
9月10日	穂高公民館 川の観察会	中房川	15人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : 安曇野環境フェア 2016 の出店

理由 : これまでの環境フェアはすべて参加してきたが、内容的に生物写真や活動内容紹介パネルの展示とその解説が中心であり、参加者の方々にとって、必ずしも身近なものとはなっていなかったと思われる(会の参加体制も要因ではあるが)。今回、近くの川で採取してきたさまざまな水生生物を水槽に入れて展示したところ、たくさんのお子どもたちが集まって関心を持って手に取ったりして楽しんでくれた。また大人の方も、子ども時代を懐かしがって、昔の川遊びのことや水辺の生活との関わりなど、いろいろな話をしていただいた。まだ十分とは言えないが、参加型の展示にしたことが良かったと思われる。

団体名	三角島ふるさとの森プロジェクト
記入者名	場々 洋介

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
7月24日	アレチウリ駆除	三角島	10人
7月31日	三角島の自然と水を楽しむ集い	三角島	15人
9月11日	三角島の自然を描く集い	三角島	40人
10月9日	上記 表彰式	堀金	15人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : 三角島の自然を描く集い

理由 : 通算6回となる。征矢野先生の指導が素晴らしい。

団体名	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会
記入者名	浜口 あかり

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月27日	クマ講座	穂高公民館	30人程度
8月11日	からすの学校 ツキノワグマ学習会	烏川溪谷緑地	25人程度
11月13日	クマ講座	穂高有明豊里地区公民館	20人程度

※その他、安曇野市外で8回程度、クマ講座などを実施しています。

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : 穂高公民館 クマ講座

理由 : 4月に実施した講座について公民館長さんたちの間で口コミが広がっているようで、11月には穂高有明豊里地区公民館でも講座を行って欲しいとの依頼がありました。また、別の地区でも興味を持っているとの情報をいただいています。

団体名	生活協同組合 コープながの
記入者名	総合企画室 召田 洋一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月24日	森倶楽部21主催 きのこの駒打ち	長峰山	52人
5月22日	森倶楽部21主催 トレッキング	長峰山	32人

6月18日	たんぼの生き物調査	堀金中掘地区	12人
7月6日	川の生き物調査大人企画	明科自然体験交流センター	9人
7月18日	森倶楽部21主催 ロケットストーブ作り	長峰山	17人
8月10日	川の生き物調査	明科自然体験交流センター	14人
9月4日	森倶楽部21主催 山仕事道具の手入れ	長峰山	14人
10月8、9日	安曇野環境フェア出展	堀金体育館	1,900人 (来場者)

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : 森倶楽部21主催の活動

理由 : 森倶楽部21とは「長野県森の里親契約」を結んでいます。長峰山において普段体験できない活動を提供していただき、参加者からも好評です。

団体名	田淵行男記念館 こども自然観察教室「むしの会」
記入者名	伊藤 広美

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月16日	開講式、オリエンテーション、 自然観察、田淵行男記念館見学	安曇野の里	29人
5月14日	昆虫観察	光城山	32人
6月4日	オオルリシジミの観察	国営アルプスあづみの 公園(堀金・穂高地区)	36人
7月9日	学習会(雨のため昆虫観察から予定変更)	豊科交流学習 センター「きぼう」	13人
8月6日	ライトトラップ	光城山	26人
9月10日	昆虫採集	長峰山	23人
11月12日	化石の採掘体験と信州新町化石博物館見学	信州新町	23人
1月14日	学習会(雪のため野鳥観察から予定変更)	豊科交流学習 センター「きぼう」	10人
3月4日	修了式と市文化講演会	三郷公民館	予定

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : ライトトラップと化石採掘体験

理由 : 「これがあるから参加しました」というお声をいただいた。毎年人気の講座である。

団体名	特定非営利活動法人 森倶楽部 21
記入者名	森 芳昭

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月24日	森の里親促進事業 「キノコの駒打ち体験」	天平の森	71人
5月22日	森の里親促進事業 「長峰山トレッキング」	長峰荘～長峰山	45人
5月27日	明科高校総合学習	長峰山	約160人
6月20日	明科中学校 総合的な学習の時間	長峰荘～長峰山	22人
7月3日	蝶の観察会	天平の森 長峰山	24人
7月16日	アファンの森・おやまの発電所 視察研修	信濃町 飯綱町	26人
7月18日	森の里親促進事業 「ロケットストーブ・万華鏡作り」	天平の森	28人
9月3日	植物観察会	天平の森 長峰山	19人
9月4日	森の里親促進事業 「刃物研ぎ講習会」	天平の森	35人
10月8、9日	安曇野環境フェア展示 および体験コーナー	堀金体育館	14人+α
11月6日	やまたみキッズクラブ体験指導	長峰山 蝶の森	21人

特に来場者からの反響が大きかったものとその理由

イベント・講座名 : 森の里親促進事業「長峰山トレッキング」

理由 : 森の里親促進事業は里親となった企業・団体から寄付を受けて森林整備を行うとともに、年3～4回の森林体験のイベントを行うものである。昨年度からコープながのさんに里親となっていていただき、COOPの会員向けにイベントを開催している。
今年も4回開催したがキノコの駒打ちや刃物研ぎ、ロケットストーブ作成などの体験型でお土産が付くものの人気は高く、申し込みの定員もすぐに埋まってしまふ。
今年初めてトレッキングを行ったが、思いの外参加者も多く、親子連れで楽しく山登りをし、途中の説明も熱心に聞いてくれた。自然の中に出て触れてみたいという意欲が若い親子にもあることを再認識した。

団体名	屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
記入者名	場々 洋介

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
10月9日	市内屋敷林ツアー	豊科・三郷	10人
11月23日	落ち葉拾いボランティア	穂高	20人
3月25日	安曇野屋敷林フォーラム2017	豊科	80人

参加したイベント・講座で特に印象に残ったものとその理由

イベント・講座名 : 安曇野屋敷林フォーラム2017

理由 : 通算7回となります。当プロジェクトの最大イベントです。

サポーター、行政の応援がありました。

団体名	野生生物資料情報室
記入者名	植松 晃岳

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月23日	オオルリ観察会 [*] (座学と観察会)	烏川溪谷緑地	27人
6月18、19日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	燕岳・燕山荘	13人
6月25、26日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	燕岳・燕山荘	12人
7月1、2日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	燕岳・燕山荘	15人
11月21日	小谷自然学校講座「小谷村の野鳥」	梅池高原	11人
1月13日	小谷自然学校講座「小谷村の動物」	梅池高原	14人
2月3日	スノーシューとアニマルトラッキング(座学と観察会)	烏川溪谷緑地	27人
2月7日	松本平の動物とアニマルトラッキング(座学と観察会)	烏川溪谷緑地	13人

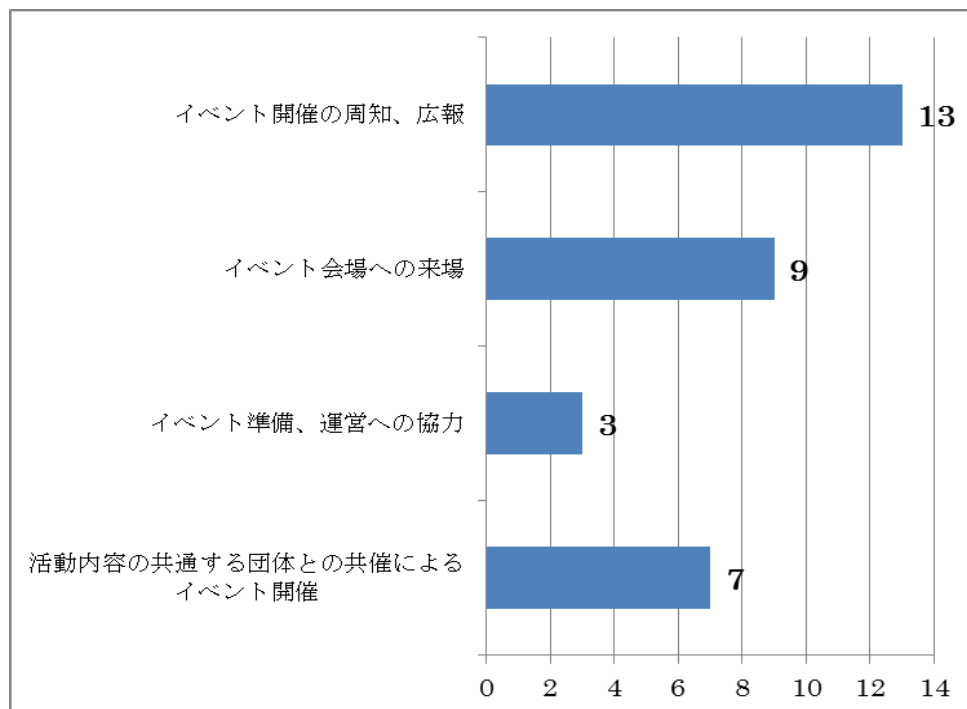
参加したイベント・講座で特に印象に残ったものとその理由

イベント・講座名 : ライチョウ観察会

理由 : 多くの人の関心があった

【問】貴団体がイベント・講座を実施する際、他のネットワーク登録団体や環境基本計画推進会議委員にどのようなことを期待しますか。該当する番号を回答欄に記入してください。（複数回答可）

1. イベント開催の周知、広報
2. イベント会場への来場
3. イベント準備、運営への協力
4. 活動内容の共通する団体との共催によるイベント開催



【問】その他、今後環境市民ネットワークとして取り組んでみたい活動がありましたらご自由にご記入ください。（例: 特定外来生物(アレチウリなど)の駆除活動）

- ・ 今後も安曇野環境市民ネットワークを通して地球温暖化に係る啓発活動を続けていきたい
「私達の暮らしと地球温暖化～IPCC AR5 から～」や地球温暖化に係る緩和策・対応策の講演など
- ・ アルプス花街道では、活動への参加者を募集しているので、ネットワーク参加者の中から参加していただける団体があれば、お願いしたい。
- ・ 安曇野の自然景観と自然環境保全のため、市内および周辺地域における河川流域での帰化植物など生育調査、観察会、駆除活動の実施
(オオキンケイギク、オオカワジシャ、アレチウリなど)
- ・ 安曇野市域の水辺に関する古い写真の収集（自然、観光、日常生活、行事など）
- ・ アレチウリの駆除
- ・ 現在、環境フェアなどには毎年参加させていただいています。
今後もできるだけ活動に参加・協力したいと思っています。
- ・ 全県を活動エリアとしている当生協にとって、安曇野市は県の中心に位置している事から、参加組合員を募集するのに都合のいい場所です。情報をいただければ検討したいと考えています。
- ・ 環境先進地森倶楽部 21 視察ツアー
- ・ 緑化に取り組むグループのシンポジウム